

信 州 大 学

総合健康安全センター一年報

令和4年度

信州大学総合健康安全センター

目 次

・ はじめに	1
・ 総合健康安全センター組織	2
・ 令和4年度総合健康安全センター年間事業・業務等実施状況	3
I 健康管理	
1. 健康診断	
1) 健康診断の実施	4
2) 健康診断事後措置・保健指導	5
2. 保健室における感染症対策	6
3. メンタルヘルス	
1) 休学・不登校等の学生対応, 休職教職員対応	6
2) メンタルヘルス対策	9
4. 過重労働による健康障害防止対策	10
5. 診療・応急措置	11
6. 感染症対策	11
7. 健康教育	
1) 健康科学・理論と実践	11
2) メンタルヘルスに関する教育	13
3) 一次救命講習	15
II 安全衛生	
1. 総括管理	
1) 安全衛生に関する方針・目標・計画の策定と評価	15
2) 学内の実態調査と情報の更新	16
3) 安全衛生管理体制の構築	16
4) 安全衛生委員会及び学生委員会	17
5) ネットワーク構築	17
6) 緊急事態への対応	17
7) 環境活動との連携	18
8) 化学物質リスクアセスメントの実施	18
2. 作業環境管理	
1) 職場巡視	18
2) 作業環境測定	19
3) 薬品管理システム	19
4) ハザードマップの作成	19
3. 作業管理	
1) 学内の実態把握	19
2) 実態に即した効果的な職場巡視の計画・実施	20
3) 日常の自主的管理の支援	20
4) 産業保健スタッフによる研究室の支援	20

4. 健康管理	
1) 過重労働による健康障害防止対策	21
2) 喫煙対策	21
3) ストレスチェック制度	21
5. 安全衛生教育	22
<資料編>	
資料1 学生定期健康診断受診率	23
資料2 学生への生活習慣に関する調査	30
資料3 学生定期健康診断精検結果	35
資料4 令和3年度学部生, 院生 過年度・休学・退学実態調査結果	37
資料5 施設利用状況	46

はじめに

令和4年度は教員（医師）1名欠員が継続している中でのCOVID19対応3年目となりました。令和3年と同様に1年を通じて新型コロナウイルス感染症対策に多くのリソースを集中する事を余儀なくされ、引き続き新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種も行いました。規模を順次縮小し夏以降は松本でのみ実施しましたが、松本以外での接種では総合健康安全センターだけでなく医学部、附属病院の医療職はじめ全学の事務職員にお手伝いいただき学内の人的リソースのみで遂行することができました。ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。

また、講義などあらゆる場面を通じて感染症予防の啓蒙につとめてきました。COVID-19対策については学生向け学習教材、教員用の資料を作成し、サークル活動再開にはe-learning受講を必須としました。感染症は自分が罹患しないように注意するだけでなく、「自分が罹患した際に周囲に広めない行動をとる」という教育を重視してきました。感染症等報告システムによってリアルタイムに感染状況を把握する事ができ、集団感染の兆候がみられた場合には迅速に対応し感染拡大を最小限に抑えることが出来ました。

健康診断は感染対策を講じつつ従来の方法で無事実施できました。昨年に引き続き感染者の発生時には休暇中や時間外にも接触者調査などに保健師の皆様には大変な負荷をかけ続けてしまいました。この状態を長期間続けることには無理があり、医療職の人的リソースを事務処理から開放することが急務であると実感しました。そこで、大学の戦略的経費に「保健管理のDx：医療職のリソースを選択・集中するための保健管理システム構築」を応募したところ高評価を得て満額が認められ、3年度中に開発をすすめ4年度から稼働開始しました。健康診断の結果入力などの事務作業は大幅に軽減され、進級に伴い移動する学生や転勤する職員の健康管理も継続して経過を追える体制を漸くつくる事ができました。今後の教職員学生の健康支援がより円滑に行われ充実したものになることが期待されます。

禁煙推進については、敷地内全面禁煙となり7年目となりました。いずれのキャンパスでも敷地内の禁煙はほぼ達成されつつありますが、キャンパス周囲のポイ捨てが続いています。禁煙支援を引き続き行うと共に、喫煙の害とマナーについても引き続き啓蒙を行っています。学生の喫煙率は年々低下していますが、教職員の喫煙率があまり低下しないことが大きな問題と感じています。

これからも暫くはCOVID-19対策を中心とした業務が続いていきます。引き続き、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和5年5月

信州大学総合健康安全センター
センター長 森田 洋

<総合健康安全センター組織>

令和5年5月1日現在

センター長（統括産業医） 森田 洋
健康教育部門長 高橋 徹
環境・安全衛生部門長 空席（産業医）

教員

教授 森田洋（医師（内科・統括産業医））
准教授 高橋 徹（医師（精神科））
助教 山崎 勇（臨床心理士）

看護職

松本キャンパス

樋口千鶴
藤森美里（育休）
林 弘子
長崎弥佳
鈴木宏美

教育学部

兄玉邦代

工学部

小川智子
横井里沙

農学部

入原百合

繊維学部

渡邊里菜

カウンセラー（臨床心理士）

松本キャンパス

金井美保子
徳永まゆ子
行田太樹（非常勤）

教育学部

大場美奈
宮崎恵美子（非常勤）

工学部

山崎 勇
野村華子

農学部

下平憲子

繊維学部

山岡俊英

学校医（非常勤）

松本キャンパス

内科 安尾将法
内科 加藤沢子
精神科 金子 稔
皮膚科 山浦麻貴
婦人科 時光亜希子

教育学部

内科 佐藤俊一
精神科 竹内博人

工学部

内科 武田 毅
" 小島貴彦
精神科 中澤友昭

農学部

内科 池上 泰
精神科 向山隆志

繊維学部

内科 森 浩二
精神科 遠藤謙二

産業医

松本キャンパス事業場

塚原照臣

松本附属学校園事業場

堀内博志

医学部附属病院事業場

金井信一郎

"

杉山暢弘

長野(教育)キャンパス事業場

池上俊彦

長野附属学校事業場

長谷川航平

長野(工学)キャンパス事業場

長谷川航平

伊那キャンパス事業場

増田雄一

上田キャンパス事業場

森田 洋

事務室

松下哲裕（副課長・室長）

馬 佳琳（主査）

三村佳子（係員）

忠地美咲（臨時事務補佐員）

令和4年度総合健康安全センター年間事業年間事業・業務等実施状況

月	全学事業・会議・委員会・研修会等	実施日等	各キャンパス事業等	実施日等	
4	・新入生ガイダンス	4/3～	・入学式救護	4/4	
	・e-Learning新任教職員研修	4/5～5/31	・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/26～	
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	4/21,5/27,6/16	・生活習慣データ集計	中止	
	・講義「メンタルヘルス概論」での「心と健康に関する調査」	5/2～	・新入生健康状態調査票有所見者の健康相談	5/10～	
	・講義「健康科学・理論と実践」(新入生)	4/11～	・全学教育機構保健室の開設	4/1～随時	
	・全学安全衛生委員会(メール開催)	5/18～24	・尿検査(未検査学生)	5/12～	
	・アレルギー調査	4/2～	・禁煙教室(学生・職員)	4/1～随時	
	・日本学生相談学会第40回大会(大阪大学)	5/6～8	・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	6/3～	
	・新型コロナウイルス対策(ワクチン接種等)	4/1～	・職員定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	6/7～	
	・感染症等報告システム学生対応 情報カード教職員対応	4/1～	・各キャンパス職員健康(人間ドック含む)事後措置	4/1～随時	
	・新保健管理システム運用開始	4/1～	・新学期学生ガイダンス	4/1,4	
	・新入生健康状態調査票ウェブ回答	4/2～4/28	・2年生、大学院1年生メンタルヘルススクリーニング及びび全員面接	4/20,21	
			・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/4,5,4/6～	
			・尿検査(未検査学生)	4/13,14	
			・教育実習事前調査 健康相談及び個別面接	4/1～随時	
			・教育実習連絡会・養護教諭との情報交換会	4/27	
			・教育実習校との情報交換	4/27～随時	
			・教育学部FD	5/11	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	5/20,610～	
			・職員定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	5/18,20, 5/23～	
	6			・工学部メンタルヘルスセミナーFD(森光晃子先生)	5/16
				・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/6～
				・3年次編入入試救護	6/3
				・献血への協力	6/30
			・グループカウンセリング(野村カウンセラー)	4/22	
			・学部2年次・3年次ガイダンス(メンタルヘルスと身体の健康教育)	4/6	
			・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/7～随時	
			・職員特殊健康診断実施及び事後指導	4/7	
			・農学部FD	7月に実施	
			・献血への協力	6/21	
			・学生ころとからだの健康相談(メール相談)	随時	
7				・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	3/30,31,4/1,4～
			・尿検査(未検査・再検査学生)	4/19～21	
			・学部2年生向けメンタルヘルス啓発講演会(山岡カウンセラー)	4～5月	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	5/17,30	
			・留学生ガイダンス	7月に変更	
			・献血への協力	4/24	
			・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	9/26～	
			・職員定期健康診断有所見者再検査及び健康相談	随時	
			・防災訓練救護班活動	9/1	
			・オープンキャンパス救護	中止	
			・職員健康増進講演会	9/7	
			・教育実習事前調査 健康相談及び個別面接(2)	7/13～随時	
9			・教育実習校との情報交換	4月に変更	
			・オープンキャンパス救護	8/8	
			・大学院入試救護	7/2	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	7/15	
			・救急救命講習会(メールによる実施手順と注意点の周知)	9/27	
			・職員定期健康診断・10月入学学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	9/28,30	
			・農学部FD	7/4	
			・3年次編入・大学院入試救護	7/6,12	
			・オープンキャンパス救護	7/23	
			・職員健康診断・特殊健康診断実施及び事後指導	9/21～随時	
			・学生ころとからだの健康相談(メール相談)	随時	
	10			・留学生ガイダンス	7/7
			・大学院入試救護	8/19	
			・オープンキャンパス救護	8/6(オンライン救護なし)	
			・救急救命講習会	中止	
			・要管理学生・BMI有所見者再検査及び健康指導	随時	
			・職員定期健康診断有所見者再検査と事後指導	随時	
			・大学祭救護	10/29,30	
			・職員健康増進講演会	9月に変更	
			・救急救命講習会	12/14,16	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導(工学部会場)	12/15	
			・入試救護	中止	
12				・教育実習連絡会	11/30
			・防災訓練救護班活動	中止	
			・職員定期健康診断・10月入学学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	9月に変更	
			・推薦・大学院入試救護	11/20,12/6	
			・献血への協力	12/8	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	12/15	
			・防災訓練救護班活動(図上訓練として各自確認)	10/6	
			・グループカウンセリング(野村カウンセラー)	10/13	
			・防災訓練救護班活動	10/24	
			・推薦・大学院入試救護	11/19,21	
			・献血への協力	11/16	
			・学生ころとからだの健康相談(メール相談)	随時	
1			・職員健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	10/4	
			・オープンキャンパス救護	10/15	
			・献血への協力	11/14	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	11/8,12/1	
			・推薦入試救護	11/19	
			・防災訓練救護班活動	中止	
			・助産師とらみ 出前講座(ライブ配信・セミナー)	中止	
			・入学試験救護(大学共通テスト・前期後期試験)	1/14,15	
			・全学安全衛生委員会	2/15	
			・総合健康安全センター業務打合せ会・研修会	中止	
			・カウンセラーの集い	中止	
			・学生相談部会	3/2	
3			・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	1/26,2/16,3/16	
			・第24回フジカルヘルスフォーラム(名古屋大学)	3/16,17	
			・衛生管理者・安全管理者研修会	中止	
			・感染症等報告システム学生対応 情報カード教職員対応	随時	
			・アレルギー調査	2/22～	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	1/17～	
			・健康診断等統計まとめ	2/1～	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	12月に変更	
			・次年度新入生麻疹予防接種履歴調査	3/6～4月中旬	
			・特別選抜入試救護	2/14	
			・グループカウンセリング(野村カウンセラー)	中止	
			・入試救護	中止	
		・職員特殊健康診断実施及び事後指導	2/20		
		・卒業式救護	3/23		
		・学生ころとからだの健康相談(メール相談)	随時		
		・卒業式救護	3/24		

< 日常業務 >

(1) 保健管理活動業務

- ・診療(内科・婦人科・皮膚科・精神科)
- ・カウンセリング(含附属学校園スクールカウンセリング)、健康相談・応急手当
- ・感染症対策
- ・救急箱貸出・健康診断証明書発行・臨時健康診断(体育授業・大会出場関係)
- ・内科医、精神科医、嘱託産業医巡回
- 健康増進教室

(2) 安全衛生活動業務

- ・勤務時間記録書データ入力及び法面接指導等対象者の把握
- ・長時間労働対象者に対する産業医面談、医療面談の施行
- ・長期休職者に対する職場復帰プログラムの実践
- ・松本キャンパス安全衛生委員会・安全衛生活動
- ・隔地事業場安全衛生委員会陪席、衛生管理者職場巡視支援
- ・内科医、精神科医、嘱託産業医巡回
- ・労基署各種届出

I 健康管理

心身の健康状態を把握し、健康障害の防止、健康増進を図る。

1. 健康診断

1) 健康診断の実施

教職員、学生の健康状態を把握し、健康障害の防止、健康増進を図る。

(1) 教職員定期健康診断の検査項目

① 法定項目

内科診察、身長、体重、視力及び聴力（1,000ヘルツ及び4,000ヘルツの音に係る聴力）、胸部エックス線検査、血圧の測定、貧血検査（赤血球数、血色素量）、肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP）、血中脂質検査（LDL-C、HDL-C、中性脂肪）、血糖検査（空腹時血糖又は随時血糖、ヘモグロビンA1c）、尿検査（尿中の糖及び蛋白）、腹囲の測定、心電図検査

② 法定外項目

貧血及び造血器疾患 検査（ヘマトクリット、白血球数、血小板、血清鉄）、消化器疾患検査（ペプシノーゲン、ピロリ菌抗体）、ウイルス性肝炎検査（HBs-Ag（定性）及びHCV-Ab（定性））、膵臓疾患検査（アミラーゼ及びCA19-9）腎疾患検査（クレアチニン）、高尿酸血症（尿酸値）、前立腺がん検査（PSA）、卵巣がん検査（CA125）及び大腸がん検査（便潜血）

令和4年度における教職員定期健康診断は、人間ドック等の受診者を含め予定者はほぼ受診した。学内での健康診断実施は新型コロナウイルス対策に十分配慮し、受付時間を指定し混みあわないよう留意した。

(2) 学生の健康診断について

学校保健安全法に基づき、身長・体重測定、視力測定、聴力検査（会話域）、血圧測定、尿検査、胸部X線検査、内科診察を実施した。**（資料1 健康診断受診率）**

新入生約2,000名は松本キャンパスで健康診断を実施し、全員が胸部レントゲンを含め健康診断を受検している。

あわせて「新入生健康状態調査票」をウェブ回答してもらい、既往症や現病とその治療状況・感染症のワクチン接種歴・アレルギー・機能障害等の健康状態を把握し、入学後の体調についても確認を行った。

令和4年度は現病有者122名、アレルギーのうちエピペン携帯者9名とアナフィラキシー既往者21名、機能障害を有する者15名の健康相談を実施した。

また健診受診者対象に現病歴や生活習慣を把握するための問診を実施し、その回答をもとに有所見者には内科診察や健康相談を実施した。

令和4年度から新保健管理システムを導入し、健診結果・診療録・問診票・健康状態調査票結果を電子することで、学生や教職員が各キャンパスに異動しても健康管理が一元化され各保健室との連携がスムーズになった。

生活習慣 **(資料2 生活習慣統計)**

- ・喫煙習慣は、学年が上がるに従い喫煙率は少しずつ上昇しているが、全体の喫煙率は時々喫煙する学生を含めて4.2%で前年度の6.2%から減少している。
- ・飲酒習慣は、全体では毎日飲酒するが1.0%、時々飲酒するが46.3%で、学年が上がるに従い飲酒率は上昇し、3年生では毎日飲酒が1.5%、時々飲酒するが75.4%になっている。
- ・運動習慣は、学年を通してその割合に著しい差は認めず、平均で時々している学生が63.6%、毎日している学生は9.0%であった。
- ・平均睡眠時間は学年に大きな差はなく5時間以上6時間未満が58.5%と最も多かった。
- ・朝食習慣は、毎日食べている学生は1年生では男子77.2%、女子81.0%だったが、学年が上がるに従いその割合は低下し、2年生以上の男子平均は43.5%、女子は57.6%となった。朝食をとらない学生は、男子に多い傾向がある。

生活習慣は、入学した直後の1年生時と比較して、学年が上がるに従い飲酒割合や朝食欠食などが増加している。

この結果を元に、1年生は生活の自己管理ができるように指導すること、また上級生は生活習慣の悪化を抑制するような生活指導を行うことが必要と考えられた。喫煙習慣は、1年生ではほとんど喫煙者がおらず全体的にも年々喫煙率は減っているが、一旦喫煙を開始してしまうと辞めることが困難になる。

そのため1年次の「健康科学・理論と実践」で喫煙による影響、体に及ぼす害など喫煙予防について講義をしている。また飲酒についても講義をし、新入生はアルコールパッチテストを全員に配布しセルフチェックができるようにした。

2) 健康診断事後措置・保健指導

健診結果の有効な活用を行うために事後措置を行う。

健康診断の結果、異常が認められた場合には、個別に診察、再検査、保健指導などの事後指導を実施した。**(資料3 健康診断結果)**

また随時、禁煙希望者への禁煙サポートやメタボリックシンドローム予防のため活動量計を用いた健康支援を実施した。

2. 保健室における感染症対策

さまざまな感染症の発生に対して、学生は感染症報告システム、教職員は情報カードを用い健康危機管理を実施している。

令和4年度も新型コロナウイルス対応が中心となったが、体調不良者への早期対応としてシステム登録者には電話で体調確認を実施し、状況に応じて保健所や医療機関への相談を勧め、受診結果から濃厚接触者への対応などを迅速に実施し感染症の拡大を阻止に努めた。感染症関連の体調不良者の対応は、学生12,391名、教職員1,385名であった。

また、新型コロナワクチン職域接種（オミクロン対応も含む）を松本キャンパスで実施した。

3. メンタルヘルス

1) 休学・不登校等の学生対応、休職教職員対応

休学・休職の情報収集と分析を行い対応する。教職員については、職場復帰支援プログラムの定着を図る。

(1) 過年度、休学、退学調査と対応

① 調査方法

「休学者・不登校学生の情報収集、分析及び指導方法等」については、平成17年11月8日開催の第46回学生委員会において、総合健康安全センターで実態を把握して学生委員会で指導方法等の検討をすることが了承されており、これに基づき学生の過年度（「標準修業年限超過」をいう。以下同じ。）、休学、退学調査を行った。実際の調査内容は、学部学生については茨城大学から、大学院学生については東京工業大学からの依頼に基づき各学部及び研究科に依頼して作成した令和3年度過年度・休学・退学実態調査を、総合健康安全センター事務室でまとめたものである。

② 調査内容

令和3年度における学部学生、大学院生それぞれの過年度、休学、退学について、過年度は学部等ごとに過年度者数及び過年度率の年度別変遷データを、休学は学部等ごとに休学者数の年度別変遷、入学年度別及び分類群（背景因子）データを、退学は学部等ごとに退学者数の年度別変遷、入学年度別及び分類群（背景因子）データをまとめた。

また、このデータを各学部等に送付するとともに学生委員会で報告し、学部等において学生指導をする際の参考データとして利用されている。

以下にデータのうち平成29年度から令和4年度の年度別過年度率、令和3年度の

入学年度別休学，退学状況の調査について掲載する。**（資料4）**

<学部学生編>

① 過年度について **（資料4 学部生年限超①）**

平成29年度から令和4年度までの年度別過年度者率「各年度の在学学生数に対する過年度者数の割合」の各年度の5月1日現在は，平成29年度，30年度は増加，31年度，令和2年度は減少，3年度はやや増加し，4年度は減少した。

② 休学について **（資料4 【学部生休学】②）**

入学年度別の休学者は，海外留学を含めて過年度学生が73名と最も多く，次いで入学4年目の平成30年度が47名，31年度が27名，令和2年度が21名，3年度が11名となっている。また，休学者180名に占める過年度学生73名の比率は40.6%（前年度34.3%）で，過年度学生として在学している者に占める休学者の比率は，15.77%（前年度13.77%）と継続して高い傾向にある。

③ 退学について **（資料4 【学部生退学】①）**

令和3年度における退学者は全体で127名（前年度109名・18名増）であった。入学年度別の退学者を見ると過年度学生が46名で全体の36.2%を占めている（前年度34名（31.2%））。次いで平成30年度が27名，令和2年度が21名，平成31年度が19名，令和3年度が14名となっている。また，退学者127名中98名（77.1%）（前年度109名中81名（74.3%））が男子学生で，そのうちの39名（39.8%）が過年度学生である。

また，在学者全体に対する退学率は1.46%であったが，このうち過年度学生の在学者の退学率は10.09%（前年度（8.21%））と依然高い傾向にある。

<大学院学生編>

① 過年度について

平成29年度から令和4年度までの年度別過年度者率「各年度の在学学生数に対する過年度生数の割合」の各年度の5月1日現在を%で表したものである。

ア 修士 **（資料4 修士年限超②）**

平成29年度は増加，30年度から令和3年度までは毎年度減少し，4年度は増加した。

イ 博士 **（資料4 博士年限超②）**

過年度者率の経時的変化では，過年度者率の高かった総合工学系は，平成29年度以降は増加の傾向にあったが，令和3年度は医学系の方が上回った。男女別の平均をみると令和元年度，3年度を除き，女子が男子を上回った。

② 休学について

令和3年度の入学年度別の休学者は，

ア 修士 **（資料4 修士休学②）**

入学年度別の休学者数は、令和2年度入学が15名で休学者全体の35.7%、次いで長期履修生が12名で休学者全体の28.6%、過年度学生が10名で休学者全体の23.8%を占めている。長期履修生としての在学者数に占める休学率は52.17%（前年度38.46%）と増加している。

イ 博士 **（資料4 博士休学②）**

入学年度別の休学者数は、過年度学生が27名と最も多く休学者53名に占める割合は50.9%となっており、過年度学生として在学者数に占める休学率は49.09%と高い。また、研究科別に休学者数をみると、医学系が18名と多く過年度学生の休学者全体の66.7%を占めている。

③ 退学について

令和3年度の入学年度退学者は、

ア 修士 **（資料4 修士退学①）**

令和3年度における退学者は全体で40名（前年度29名）である。男子31名（前年度26名）、女子が9名（前年度3名）と男女とも増加している。入学年度別・男女別に見ると、2年度男子18名が最も多い。また、過去6年間の退学者数は、平成29年度は急激に増加、30年度は横ばい、令和元年度、2年度は減少し、3年度に増加している。

イ 博士 **（資料4 博士退学①）**

令和3年度における退学者数は全体で48名（前年度40名）であったが、男子が36名（75%）と多い。また入学年度別・男女別に見ると、平成30年度男子12名が最も多い。また、研究科別にみると、総合医理工学研究科総合理工学専攻【3年制】が男子女子合わせて13名（27.1%）、医学系（博士課程）【4年制】が男子女子合わせて10名（20.8%）と多く、両研究科をあわせると休学者全体の47.9%を占めている。なお、過去6年間の退学者数は、平成29年度は急激に増加、30年度はほぼ横ばい、令和元年度、令和2年度は減少し、3年度に増加している。

(2) 信州大学職場復帰支援プログラムの実施

法人化後に開始した「信州大学職場復帰支援プログラム」は職員に浸透し早期から産業医が復職に関わる体制が確立している。1ヵ月以上病気休業した後に復職する場合には職場復帰支援プログラムを利用して、円滑な職場復帰の支援を行っている。1ヵ月以上の療養を要する診断書が提出されると、職場等から総合健康安全センターに連絡が入り、復帰支援プログラムの第1ステップに則り病気休暇当初からの支援を開始している。このことは、原因は何か、職場に関連した問題が病状に影響を与えていないか否か、病気休暇早期の段階で鑑別することを可能とする。もしも職場に関連した問題が病状に影響を与えている場合には、良質の自宅療養、早期の疾病の改善の実現のために、できる限り早急に対応することとしている。その場合、本人面談のほか、主治医からの情報提供、上司、人事

部門、家族等と連携し、病気休暇が長期化しないように努めている。昨年度からは医学部附属病院の提供する職場復帰プログラム（復職前のリハビリテーション）を利用する職員も増え、復職後も附属病院専門職が職場にアドバイスをする機会がもたれ、より円滑な復帰につながっている。

2) メンタルヘルス対策

カウンセリング体制を整備、充実しつつ、学生および教職員の心の健康管理を行う。学生相談センターと連携、協働して全学の精神保健状況の実態把握に努め、課題を把握し、対策を検討し、対応を図る。

学生のメンタルヘルス対策については、当センター精神科医および臨床心理士が、学生相談センター所属の臨床心理士や各キャンパスの保健師・看護職、各学部学生相談員、担当教職員と連携、協働して取り組んでいる。全てのキャンパス・学部で臨床心理士が常駐する体制によって、緻密で円滑な連携が可能となっている。

教職員のメンタルヘルス対策については、各部署担当の産業医を中心に適宜当センターの精神科医、産業医、臨床心理士が連携し対応している。

令和4年度は精神科医、臨床心理士合わせて全学で延べ4,529名の学生メンタルヘルス相談と延べ257名の職員メンタルヘルス相談が行われた。

個別カウンセリングや心理検査、精神医学的対応のほか、学内外関係部署との連携も適宜行い、学生や教職員に対して最善の支援が行われるよう努めている。また、新入生を対象とした共通教育科目「健康科学・理論と実践」の講義「メンタルヘルス概論」において、メンタルヘルスチェック（「大学生活に関する調査」：対人関係、希死念慮、カウンセリング希望などを含めた51項目のアンケート）を実施し、自己のメンタルヘルスに注意を向けることを啓発した。（新入生以外では、工学部の2年生以上においてもメンタルヘルスチェックを実施している）。

(1) 各学部相談室にかかる活動

全学部において、各学部学生相談室に担当カウンセラーと保健師・看護職が構成メンバーに加わり、学部の相談委員や教職員と協働連携を図りながら相談室の運営に携わっている。具体的には、相談活動に関するコンサルテーション、相談室主催の企画に関する助言・提案、学生対応の指針作成、チューター面談の補助、FD・SD、支援会議など各学部の特色やニーズに応じた活動を行っている。

(2) 教育学部附属学校園スクールカウンセリング

教育学部附属6校園（長野3校・松本3校園）を対象にスクールカウンセリングを行っている。長野地区、松本地区それぞれ週1日を各校の実情にあわせて時間配分を行い対応している。児童生徒の個別カウンセリングや保護者との個別面談の他、児童生徒・園児の行動観察、教師とのコンサルテーション、チーム支援会議への出席などを行っている。また必要に応じて児童相談所、保健センター、

医療機関など学外関係機関との連携も行い、児童生徒・園児へのよりよい支援体制の整備にも努めている。

(3) カウンセラー間の協働・連携

・カウンセラーミーティング

カウンセラーの技術向上や情報共有のため、当センターと学生相談センター所属の臨床心理士合同によるミーティングを計9回（令和4年月16日、6月6日、7月11日、9月12日、10月31日、11月28日、12月26日、令和5年1月23日、3月20日）（オンライン会議にて開催）を行った。ハイリスク事例の情報共有や対応の検討、発表者持ち回りの事例検討、各学部の状況報告などがその内容である。

・カウンセラーの集い

例年、年2回（8月と3月）、当センター所属の医師、常勤心理士、非常勤臨床心理士、学生相談センター所属の臨床心理士が集まり、情報交換や必要事項の検討を行っていたが、令和2年度以降、コロナ感染対策のため中止しており、令和4年度も実施を見合わせた。令和5年度以降は、カウンセラーミーティングとセンター業務打ち合わせ会のなかで本内容を実施し、「カウンセラーの集い」は中止する方針とした。

4. 過重労働による健康障害防止対策

平成18年度に労働安全衛生法が改正され、信州大学では「過重労働からの健康障害を防ぐための指針」を作成し教職員に対する過重労働対策に積極的に取り組んできている。

裁量労働制の教員は、毎月勤務時間記録書を提出し、本人の申出がある場合と、過重労働（裁量労働制の教員で時間外労働が100時間超もしくは3ヶ月連続80時間超、裁量労働制以外の教職員で時間外労働が60時間超）がみられた教職員に対しては総合健康安全センターから通知し、産業医面談を呼びかけると共に、疲労度チェックを行って頂き健康状態の把握に努めている。また、本人の申出がなくとも、健診の結果及び当センターへの受診や相談の状況及び職場からの意見を考慮し産業医面談を積極的に行い、専門医の受診、治療専念を進言している。

裁量労働制教員の勤務時間記録書の提出の徹底は全学でほぼ100%を達成することができた。また、各事業場（キャンパス）の安全衛生員会でも長時間労働についての議論が充実してきており、毎年長時間勤務者は減少してきている。また、産業医面談の機会を増やすために、産業医面談は対面に加えて Google meet を利用した遠隔面談を積極的に利用する事で、面談機会を増やしている。一年間で延べ47件の過重労働面談を実施した。

そのほか、看護職の段階での連絡、確認、相談によるフォローアップも充実しており、医師が非常勤である事業場での健康管理は円滑に行われている。

5. 診察・応急措置

病気や怪我の措置に当たる。

診察は、内科、精神科、整形外科、皮膚科、婦人科について、当センター医師、学校医が行い、日常業務は看護職が対応している。また、カウンセラーによる相談も実施している。**(資料5 施設利用状況 学生・職員)**

6. 感染症対策

さまざまな感染症の発生に対して健康危機管理として対応を行っている。令和4年度は麻疹・水痘の発生の報告はなかったが、輸入結核（薬剤耐性）が確認された。保健所と協力し接触者健診を実施したが学内での感染の広がりは見られなかった。COVID-19はこれまでで最大規模の感染となった。学生教職員合わせて3,100名以上の感染がみられた。

COVID19に対する大学拠点（職域）接種は今年度も引き続き実施した。松本キャンパスでは総合健康安全センターを会場に実施し、年末まで継続して実施した。松本以外のキャンパスは医学部および医学部附属病院にご協力いただき実施したが希望者が減少したため、6月で実施を終了し、2価ワクチンの接種は松本のみで実施した。接種は金曜日、土曜日を中心に合計32日（勤務時間内55時間、休日夜間43時間）実施した。

7. 健康教育

1) 健康科学・理論と実践

全学1年生必須の「健康科学・理論と実践」について、総合健康安全センターは「理論」を担当している。健康増進、生活習慣病を防ぐ、メンタルヘルス、ライフスキルアップ、薬物に対する注意、性の健康について知識の習得を図る目的で、学期を前半、後半にわけて各クラス100名前後の20クラスの学生に対して、計7回の講義を行い、全学教育機構の体育担当教員が8回実技を分担している。本年は昨年度と同様に産婦人科医師の担当を除く講義のすべてを総合健康安全センターの医師・公認心理士が担当し、感染状況に対応した教室が確保できないためすべてオンライン（非同期型）で実施した。内容の充実も図り、個人の健康という側面だけでなく、社会全体の問題、ダイバーシティと健康といったアプローチの充実を図った。従来の生活習慣、禁煙、飲酒の害、精神疾患、コミュニケーション、性の健康に加えて、「ダイバーシティと障害」「認知症サポーター養成講座」も健康科学理論の中で開講した。

(1) 授業のねらい

健康科学・理論は、受講者が学生時代はもとより生涯に渡って心身の健康の維持増進について正しい認識と習慣を得ることを目的とする。

(2) 授業の概要

健康は個人、社会、地球環境にまたがる大きな課題である。こうした観点から、この科目は心身の健康、キャンパスにおける安全、社会における望ましい人間関係、環境と健康、などについての知識と行動規範の修得を目標とし7回の講義を行った。

① インTRODakション、健康なキャンパスライフのために（担当 森田）

本講義開設の主旨、概要、受講に関する注意事項を解説したのち、健康なキャンパスライフを過ごすためのフィジカルヘルス（肉体的な健康）について、食生活、睡眠、禁煙、アルコールの害（アルコールハラスメント対策を含む）、感染予防（麻疹、結核、インフルエンザ、ノロウィルス）について解説した。また、例年学生支援課の協力で講義中にアルコールパッチテストを全新生入生に行っていたが、オンラインのため総合健康安全センター（ワクチン接種開始後は共通教育係で）配布した。アルコールハラスメント、急性アルコール中毒の防止に役立つと期待される。

② メンタルヘルス概論（担当 高橋）

青年期は人生において最も心が激しく揺れ動く時期であり、誰でも心の健康を損なう可能性があるが、そのことを理解している者は少ない。心の健康を維持するために、学生が注意すべきことは何か、また、心の健康を害したときに、どのように対処すべきかについて、主として大学生によくみられる心の病気を取り上げて解説した。

③ ライフスキルアップ（担当 公認心理士）

センターカウンセラーが担当した。社会に適応していくために、大学においてもライフスキル（社会人基礎力）の向上を図ることが求められている。この授業では、対人コミュニケーションに焦点をあてた講義・演習を通して、ともに学び働くために必要な仲間との関係を構築・維持するためのコツを学ぶようにした。大学でも、さらに卒業後にも通用する対人コミュニケーションの体得へ向けた第一歩となることを期待している。

④ ダイバーシティと障害（担当 山崎）

障害に対する理解を深め偏見なく対応するために必要な基礎的知識、姿勢を身につける事を主眼に講義を行った。

⑤ 薬物乱用を防ぐ、海外渡航時に注意すべき感染症（担当 森田）

大麻等違法薬物が学生に蔓延してきている。興味本位で違法薬物に手を出してしまうことが多いが、市販薬・抗菌薬の乱用の害も増加している。これらの薬物乱用を広く扱い、社会的、健康的両面からの問題を理解し、正しく対処する事の意義を理解するようにした。

また、大学として海外留学を推進するなかで、海外特有の健康問題についての理解を深める重要性が増している。昨年後期から講義内容を改め、海外渡航時に

注意すべき感染症に対する予防法危険を事前に予知する事の重要性，その情報を収集する手段についての情報提供，自己管理の動機付けを行った。

⑥ 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は厚生労働省が推進する認知症サポーターキャラバン事業「キャラバン・メイト養成研修」を修了したものが，講師となることが出来る。サポーター養成講座を受講した者にはオレンジリングが全国キャラバン・メイト連絡協議会から配布される。森田は松本市の開催するキャラバン・メイト養成研修にも協力し，行政が開催主体である認知症サポーター養成講座を，信州大学生を対象に講義の一環として開催する体制を整えた。令和3年度に松本市で要請された認知症サポーターは2,807名であるが，本講義によりサポーターとなった者は市全体陽性者の67%を占めている。

⑦ 性感染症予防，性の健康（保健学科金井教授）

性の健康について正しく理解するための知識を習得し，またパートナーとの関連性も含め，性被害に遭わないために知っておくこと，実践すべき事などを理解するようにした。また，先進諸国のなかで日本ではHIVなど性感染症に罹患する若者が増えている。クラミジア感染症は自覚症状が乏しいが，女性の不妊の要因となりうる。性感染症の概要，予防について解説した。妊娠，性被害など性の健康について解説した。

2) メンタルヘルスに関する教育

FD・SD等を通じて，学生相談担当教職員の技能向上を図る。また，学生，教職員が，セルフケア，ラインによるケアができるよう教育を行う。

FD・SD，学生向けガイダンス，ワークショップ等を下記の日時で行った。

(1) FD・SD

・メンタルヘルス講演会

演題：なぜ、あの人はいつも穏やかなのか？

～明日から使える感情コントロール術～

講師：福家知則先生（川中島Fメンタルクリニック院長）

日時：令和4年8月4日

場所：理学部 大会議室（後日、eALPSのアーカイブ配信を実施）

・経法学部FD

演題：2022年度・令和4年度 経法学部FD

講師：高橋准教授

日時：令和4年7月13日

開催方法：経法学部会議室

・人文学部FD

演 題：人文学部メンタルヘルスに関するFD

講 師：高橋准教授

日 時：令和4年5月24日

場 所：ZOOM配信

・教育学部 FD

演 題：「3年目を迎えたコロナ禍の下での学生支援」

講 師：篠田直子准教授・茅野理恵准教授・大場美奈カウンセラー

日 時：令和4年5月11日

場 所：E504 及び ZOOM 配信

・農学部 FD

演題：「障害学生支援について」

「近年の学生の気になる姿や学生相談の状況について」

講師：学生相談センター障害学生支援室・森光晃子助教、下平憲子カウンセラー

日時：令和4年7月19日 13:30～14:20

場所：ZOOM配信

工学部FD

演題：障害学生支援の現状と合理的配慮の提供について

講師：学生相談センター障害学生支援室・森光晃子助教

日時：令和4年5月16日 15:15～15:45

場所：ZOOM配信

(2) 新入生・在学生等ガイダンス

<松本キャンパス>

・新入生ゼミナール「こころの健康」

動画コンテンツ（学生相談センター作成）をWEB上（eALPS）で視聴。

<教育キャンパス>

令和4年4月 学部生学生相談室ガイダンス（動画をeALPSに掲載）

令和4年4月 大学院学生相談室ガイダンス（動画をeALPSに掲載）

<工学キャンパス>

工学部2年生全体ガイダンス、3年生全体ガイダンス、修士1年ガイダンスにおいてカウンセリング利用案内を配布した。

<伊那キャンパス>

令和4年4月6日 農学部2年生全体ガイダンス

<上田キャンパス>

令和4年4月 新年度ガイダンス（オンライン上に動画を掲載）

内容：学生生活サイクルとストレス，カウンセリング利用案内

令和4年7月7日 留学生ガイダンス（オンライン）

講話「留学生生活とこころの健康」

(3) 学生向け講演会・ワークショップ

- ・繊維学部 メンタルヘルス啓発講演会（2年生対象）

演 題：「健康な学生生活を過ごすために」

講 師：山岡カウンセラー

日 時：令和4年4月から5月に，オンデマンドのオンライン形式で実施

3) 一次救命講習

AEDの設置に伴い，一次救命措置が行えるようにする。

平成23年度より従来松本キャンパスの学生及び教職員を対象としていたものを，医学部附属病院を除く全学の学生及び教職員を対象を拡大して実施している。松本キャンパスでは松本広域消防局丸の内消防署の指導のもと，例年2回の講習会を開催していたが，新型コロナウイルス感染症への対応として，令和4年度の開催は見送った。このため，『学生生活案内2022』において日本赤十字社ホームページ上で公開されている救命処置動画の視聴を促す等の代替策をとった。

II 安全衛生

1. 総括管理

教職員と学生の安全衛生管理体制に関する基盤を確立する。

1) 安全衛生に関する方針・目標・計画の策定と評価

学内の実態を反映させ，活動の方針・目標・計画を作成し，定期的に評価，見直しを行う。その中で，労働安全衛生マネジメントの導入を図る。

(1) 安全衛生に関する基本方針

基本理念

信州大学は，本学の教職員・学生の安全と心身の健康を守り，快適で健全な就業・

修学環境を確保するため、積極的かつ継続的に安全衛生活動と健康づくりに取り組みます。また、安全衛生に対する意識と環境マインドを併せもつ人材を育成し、地域社会及び国際社会に貢献することを目指します。

基本方針

- 教職員・学生のための健康維持・増進活動を積極的に支援します。
- 教職員・学生の健康安全を守り、良好に保持するため、教育研究環境の継続的な改善に努めます。
- 法令を遵守し、高い倫理観をもって、安全衛生活動を推進します。
- 豊かな環境マインドを醸成しつつ、安全衛生意識の向上に努めます。

(2) 安全衛生活動の年間計画

全キャンパスの年間活動案について、信州大学安全衛生委員会に提示、これをもとにして各キャンパスでも年間計画が策定された。

2) 学内の実態調査と情報の更新

学内の実態調査及び把握を行うことで実態に見合った活動を計画する。実態調査は定期的に行い、更新する。

学内の実態については、日常の診療、健康相談、労働衛生相談、労働災害報告、過重労働面談、職場巡視結果等から、知ることができる。これらの実態把握から見られる傾向をもとに、組織または個人への安全面や衛生面に関する対応を行っている。組織的な対応が必要な場合は、安全衛生委員会、学生委員会及び学生相談委員会を通じて周知を行っている。

3) 安全衛生管理体制の構築

管理体制の構築と再点検、産業保健スタッフの養成と支援を行う。研究室単位の自主管理体制の支援を行う。

(1) 産業医と衛生管理者の養成

法定の週1回の職場巡視に対応するため、法人化後平成22年度まで衛生管理者を養成し、現在は年1回衛生管理者・安全管理者に対する研修を実施しているが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

また、現在学内の産業医有資格者は合計19名に達している。

(2) 産業医会議の開催

産業医会議は、本学の8事業場の嘱託産業医と当センターの医師が集まり、意見交換、情報共有を行う場である。例年、年1回を目安に開催し、その期間の課題、過重労働対策、復帰支援状況、各事業場の安全衛生委員会の内容などについて

て意見交換、情報共有を行っているほか、新規の法改正やガイドライン策定があった場合、本会議においてその紹介と解説を行い、産業医全員で情報共有を行っている。今後も引き続き産業医会議等により各嘱託産業医の活動内容について報告すると共に、法人へ意見すべき事項がある場合には建設的な意見を提案し、その機能を果たして行く予定である。

4) 安全衛生委員会及び学生委員会

実態を確実に把握し、両委員会を通じて活動内容の審議を行う。

年3回、信州大学安全衛生委員会（全学）を開催し、安全衛生活動について審議、報告を行い、全学の安全衛生活動の方向性を定めた。また、各事業場は毎月安全衛生委員会を開催して、安全衛生計画の策定及び実施報告、定期健康診断報告、職場巡視及びその結果への対応、過重労働対策などの活動状況の報告・審議が行われた。当センターは、信州大学安全衛生委員会、松本キャンパス事業場安全衛生委員会の報告・審議事項の提案を行った。総合健康安全センター事務室は、安全衛生委員会における事務局として、報告・審議事項のとりまとめを行っているほか、全学的な対応が必要な事項については、各キャンパスの安全衛生担当窓口へ指示、連絡等を行った。

毎月開催される学生委員会にセンター長、総合健康安全センター事務室長が出席し、学生の健康管理、メンタルヘルス、過年度・休学・退学実態調査結果への対応など審議・報告を行ってきた。

5) ネットワーク構築（HP、e-learningの活用）

学内の安全衛生活動の支援のため、ネットワークを構築、活用を行う。

学内の安全衛生活動の支援のため、HPを活用し、学生、教職員へ情報発信を行ってきた。薬品管理システム、健診日程の掲示をはじめ各種のお知らせを行った。

6) 緊急事態への対応

学内の各種災害に備えるとともに、事態への対応を行う。

令和4年9月1日(木)、松本キャンパスにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、防災実務のコアとなる教職員による災害時の情報収集・伝達の迅速化および防災意識の高揚を図るため防災訓練が行われた。

緊急事態への対応の一つとして、学生・教職員の学内でのケガや事故、感染症への対応がある。修学環境や就業環境に原因があると考えられるケガや事故の場合には、現地の視察等を行い、対応を検討している。

7) 環境活動との連携

安全衛生活動を通じて「環境マインドを持つ人材の養成」を行う。

本学は、信州大学環境方針を掲げ、「環境マインドを持つ人材の養成」を行っている。EMS事務局を中心に、内部監査員による内部監査が実施され、本学においては全学的に環境活動が展開されている。一方、安全衛生活動においても、職場環境について衛生管理者及び産業医等が巡視を通じてチェックを行い、改善が行われている。環境活動としての内部監査、安全衛生活動としての職場巡視は双方重なり合う部分もあり、整合性を取り、連携する必要性が時に指摘される。こうした中で、安全衛生の基本方針にある通り、豊かな環境マインドを醸成しつつ、安全衛生意識の向上に努めている。

8) 化学物質リスクアセスメントの実施

労働安全衛生法の改正に伴い、平成28年より化学物質のリスクアセスメントが義務化され、このたびの労働安全衛生法の改正に伴い、令和5年4月1日から記録の作成と保存が義務付けられることになった。令和4年度第3回国立大学法人信州大学安全衛生委員会にて化学物質リスクアセスメントの改正について報告した。各学部等において化学物質を取り扱う全て教職員に周知・徹底するよう依頼した。各自で実施されたリスクアセスメントは、その件数を所属部局の安全衛生委員会において報告することとした。今後もリスクアセスメント活動を継続して化学物質による障害を予防し、また必要時にはその方法を改善していく予定である。

2. 作業環境管理

作業環境中の危険有害要因を取り除いて適正な作業環境を確保する。

1) 職場巡視

職場巡視を通じて、研究室の作業環境管理を適切なものにする。

定期の職場巡視については、衛生管理者を中心に実施された。それに合わせて産業医や安全管理者の職場巡視が実施された。職場巡視結果は、安全衛生委員会にて報告され、職場環境の状況が周知されると共に職場環境の改善につながっている。臨時の職場巡視としては、学生や教職員の怪我や事故などが発生した場合に、現場の確認を行った。

2) 作業環境測定

労働安全衛生法施行令第21条に基づく作業環境測定を実施し、結果に基づいた対策を検討する。

作業環境測定は、各事業場において、その職場環境にある危険有害要因に沿って行われた。本学においては、主に電離放射線、有機溶剤、特化物について、作業環境測定が行われた。

3) 薬品管理システム

学内における化学物質使用量の正確な把握を行う。

学内における薬品使用量の把握は、薬品管理システムにより行われている。

総合健康安全センター事務室は、薬品管理システム運用専門部会の事務局を務め、全学における薬品管理システムの運用の管理を行っている。薬品管理システムに関する情報は、総合健康安全センターのホームページに掲載されており、利用率の向上に努めている。

4) ハザードマップの作成

学内の危険有害要因を化学物質と特定し、その対策を講じる。

ハザードマップの作成は、第1期中期目標・中期計画（平成16年4月1日～平成22年3月31日）において掲げられていた。平成19年度から化学物質を使用する学部においては、学部内の危険薬品所在箇所を記載したハザードマップを作成している。平成20年度からは、このハザードマップを建物ごとに掲示し、学生を含めた避難訓練に利用する学部もある。

3. 作業管理

作業内容や作業方法を把握し、安全衛生面において適切な作業が行えるようにする。

1) 学内の実態把握

研究室単位等の危険有害要因の把握を行う。

各研究室における危険有害要因は、学部、学科、講座、研究室の研究内容によって非常に異なっている。これら危険有害要因の特定は、基本的にはその場で就業する教職員がその危険性を認識し、対応を図ることを原則としているが、職場巡視の中で産業保健スタッフが客観的に危険有害要因を把握し、改善を図ることにもなる。各事業場により異なるが、衛生管理者、安全管理者、産業医、安全衛生担当者等の産業保健スタッフが同行し、巡視を行っている。

2) 実態に即した効果的な職場巡視の計画・実施

実態把握を元にした職場巡視の実施。

職場巡視は、各事業場において、定期的実施されている。学生と教職員が修学・就業する場である大学は、極めて広大な敷地であり、企業や工場における作業工程と異なり危険有害要因が一元管理されているわけではなく、各研究室の実験における作業管理には限界がある。また、危険有害要因と接点がある作業中（実験や研究中）にまさに巡視を計画することは現実的ではなく、産業保健スタッフによる巡視のみでは限界がある。そのため講座や研究室単位による自主的な作業管理が求められ、その中で産業保健スタッフは適切な作業管理のための助言を求められた場合に専門的な立場で問題解決に当たることが期待される。

3) 日常の自主的管理の支援

研究室単位等の自主的管理が促進するようチェックリストの作成と運用を行う。ヒヤリハットに関する情報の集約を行う。

職場巡視用のチェックリストは、各研究室の自主的な管理を促進させる点でも活用されることを期待している。ただし、特に理系の研究室では、使用している化学物質が非常に多岐にわたっていることもあり、チェックリストの作成事態が容易でなく、使用する化学物質に精通した各研究室の教員による安全衛生管理に委ねられているのが現実である。

ヒヤリハットは、ケガや事故を引き起こしそうになって、ヒヤリとしたり、ハットとしたりした情報を共有し、同様のことを繰り返さないようにする安全衛生活動の一つである。安全衛生委員会で情報を共有し、重大災害を引き起こさないよう周知を行っている。ヒヤリハットの投書に基づき、巡視、委員会における報告・審議を行うことで改善を図った事例もあり、一定の成果を挙げている。

4) 産業保健スタッフによる研究室の支援

産業保健スタッフは、職場巡視等を通じて、研究室等の自主的な作業管理が促進されるように支援する。

職場巡視を通じて発見された問題箇所の改善について、巡視の際に検討も合わせて行っている。巡視によって顕在化した問題点の検討を行うことは、危険有害要因を認知につながり、研究室が自主的な管理を展開して行く上で、教育的な効果があるものと考えられる。したがって巡視の積み重ねは、重大災害の防止に効果があるものと考えられる。

4. 健康管理

1) 過重労働による健康障害防止対策

I. 健康管理の項目で述べた。

2) 喫煙対策

信州大学は平成28年4月より敷地内全面禁煙となった。構内の禁煙は順守されており、逸脱した喫煙行為は認めていない。しかし、いずれのキャンパスでも、条例で禁止されているにもかかわらず、門周囲など敷地境界におけるポイ捨てが散見され、その対策が現在課題となっている。松本地区では、令和元年7月1日に松本市受動喫煙防止に関する条例が施行され、これまでの吸い殻のポイ捨てだけでなく、歩きたばこ等も禁止された。松本市にも働きかけ、喫煙者の多い女鳥羽川河川敷には市により喫煙禁止の掲示が設置された。

学生の喫煙率は低下傾向が続いており1.3%（男性1.8%，女性0.5%）まで減少したが、教職員の喫煙率はあまり低下しておらず、学部によっては10%を超えている。教職員の喫煙対策が課題である。

3) ストレスチェック制度

労働安全衛生法の改正に伴い、平成28年度よりストレスチェック制度が義務化された。本学においては、本年度から外注業者を変更しすべて（回答と結果の提供）オンラインで実施した。産業医間で集団分析結果を共有し、職場での業務改善に活かす活動を行った。

令和4年度 信州大学ストレスチェック実施報告

1. 実施期間：令和4年10月3日～10月24日
2. 実施者：総合健康安全センター長
3. 事業場別実施状況

事業場名	実施対象者数 (在籍労働者数)	検査を受けた 労働者数	面接指導を受けた 労働者数
松本キャンパス	1,377	755	1
松本附属学校園	70	50	0
医学部附属病院	1,999	938	0
長野（教育）キャンパス	172	123	0
長野附属学校	110	92	1
長野（工学）キャンパス	408	266	0
伊那キャンパス	192	114	0
上田キャンパス	292	170	0
合 計	4,620	2,508	2

※実施対象者数は、令和4年8月1日現在でACSU業務IDを持つ教職員数。但し、アルバイト雇用職員、非常勤講師及び人事データ上就業場所の記載ない非常勤職員（特別招へい教授等）を除く。

5. 安全衛生教育

安全衛生管理体制，作業環境管理，作業管理，健康管理について正しい知識を習得する。

従来講習会を開催していたが，本年度もCOVID-19対応に各所多忙であり中止した。

2022年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

共通教育

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
人文学部	163 人	163 人 (100.00%)	163 人 (100.00%)	163 人 (100.00%)	161 人 (98.77%)	152 人 (93.25%)
経法学部	184 人	184 人 (100.00%)	184 人 (100.00%)	184 人 (100.00%)	184 人 (100.00%)	178 人 (96.74%)
理学部	210 人	210 人 (100.00%)	210 人 (100.00%)	210 人 (100.00%)	210 人 (100.00%)	199 人 (94.76%)
医学部保健学科	146 人	146 人 (100.00%)	146 人 (100.00%)	146 人 (100.00%)	146 人 (100.00%)	143 人 (97.95%)
医学部医学科	120 人	120 人 (100.00%)	120 人 (100.00%)	119 人 (99.17%)	120 人 (100.00%)	119 人 (99.17%)
教育学部	253 人	253 人 (100.00%)	253 人 (100.00%)	253 人 (100.00%)	253 人 (100.00%)	249 人 (98.42%)
工学部	484 人	484 人 (100.00%)	484 人 (100.00%)	483 人 (99.79%)	483 人 (99.79%)	464 人 (95.87%)
農学部	170 人	170 人 (100.00%)	170 人 (100.00%)	170 人 (100.00%)	170 人 (100.00%)	160 人 (94.12%)
繊維学部	292 人	292 人 (100.00%)	292 人 (100.00%)	292 人 (100.00%)	292 人 (100.00%)	280 人 (95.89%)
計	2,022 人	2,022 人 (100.00%)	2,022 人 (100.00%)	2,020 人 (99.90%)	2,019 人 (99.85%)	1,944 人 (96.14%)

対象者数は 5月1日現在

2022年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

人文学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	150人	122人 (81.33%)	122人 (81.33%)	122人 (81.33%)	17人 (11.33%)	96人 (64.00%)
3年生	151人	101人 (66.89%)	101人 (66.89%)	101人 (66.89%)	47人 (31.13%)	72人 (47.68%)
4年生	205人	123人 (60.00%)	123人 (60.00%)	123人 (60.00%)	119人 (58.05%)	107人 (52.20%)
計	506人	346人 (68.38%)	346人 (68.38%)	346人 (68.38%)	183人 (36.17%)	275人 (54.35%)

経法学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	182人	132人 (72.53%)	132人 (72.53%)	132人 (72.53%)	14人 (7.69%)	98人 (53.85%)
3年生	185人	123人 (66.49%)	123人 (66.49%)	123人 (66.49%)	50人 (27.03%)	86人 (46.49%)
4年生	222人	113人 (50.90%)	113人 (50.90%)	113人 (50.90%)	112人 (50.45%)	102人 (45.95%)
計	589人	368人 (62.48%)	368人 (62.48%)	368人 (62.48%)	176人 (29.88%)	286人 (48.56%)

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は 4年生に含む

2022年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

理学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	198 人	136 人 (68.69%)	136 人 (68.69%)	136 人 (68.69%)	64 人 (32.32%)	114 人 (57.58%)
3年生	199 人	137 人 (68.84%)	137 人 (68.84%)	137 人 (68.84%)	67 人 (33.67%)	106 人 (53.27%)
4年生	238 人	168 人 (70.59%)	168 人 (70.59%)	168 人 (70.59%)	167 人 (70.17%)	153 人 (64.29%)
計	635 人	441 人 (69.45%)	441 人 (69.45%)	441 人 (69.45%)	298 人 (46.93%)	373 人 (58.74%)

教育学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	245 人	244 人 (99.59%)	244 人 (99.59%)	244 人 (99.59%)	244 人 (99.59%)	243 人 (99.18%)
3年生	237 人	237 人 (100.00%)	237 人 (100.00%)	237 人 (100.00%)	237 人 (100.00%)	233 人 (98.31%)
4年生	267 人	256 人 (95.88%)	256 人 (95.88%)	256 人 (95.88%)	256 人 (95.88%)	255 人 (95.51%)
計	749 人	737 人 (98.40%)	737 人 (98.40%)	737 人 (98.40%)	737 人 (98.40%)	731 人 (97.60%)

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は 4年生に含む

2022年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

工学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	489 人	481 人 (98.36%)	481 人 (98.36%)	480 人 (98.16%)	269 人 (55.01%)	465 人 (95.09%)
3年生	519 人	472 人 (90.94%)	471 人 (90.75%)	472 人 (90.94%)	472 人 (90.94%)	457 人 (88.05%)
4年生	613 人	542 人 (88.42%)	542 人 (88.42%)	542 人 (88.42%)	541 人 (88.25%)	532 人 (86.79%)
計	1,621 人	1,495 人 (92.23%)	1,494 人 (92.17%)	1,494 人 (92.17%)	1,282 人 (79.09%)	1,454 人 (89.70%)

農学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	178 人	173 人 (97.19%)	173 人 (97.19%)	173 人 (97.19%)	71 人 (39.89%)	162 人 (91.01%)
3年生	171 人	144 人 (84.21%)	144 人 (84.21%)	142 人 (83.04%)	115 人 (67.25%)	121 人 (70.76%)
4年生	194 人	165 人 (85.05%)	165 人 (85.05%)	165 人 (85.05%)	133 人 (68.56%)	151 人 (77.84%)
計	543 人	482 人 (88.77%)	482 人 (88.77%)	480 人 (88.40%)	319 人 (58.75%)	434 人 (79.93%)

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は 4年生に含む

2022年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

繊維学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	288 人	282 人 (97.92%)	282 人 (97.92%)	282 人 (97.92%)	0 人 (0.00%)	279 人 (96.88%)
3年生	303 人	264 人 (87.13%)	264 人 (87.13%)	261 人 (86.14%)	10 人 (3.30%)	256 人 (84.49%)
4年生	333 人	288 人 (86.49%)	288 人 (86.49%)	94 人 (28.23%)	281 人 (84.38%)	285 人 (85.59%)
計	924 人	834 人 (90.26%)	834 人 (90.26%)	637 人 (68.94%)	291 人 (31.49%)	820 人 (88.74%)

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は 4年生に含む

2022年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

医学部保健学科

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	143 人	142 人 (99.30%)	142 人 (99.30%)	142 人 (99.30%)	142 人 (99.30%)	131 人 (91.61%)
3年生	139 人	139 人 (100.00%)	139 人 (100.00%)	139 人 (100.00%)	139 人 (100.00%)	127 人 (91.37%)
4年生	155 人	154 人 (99.35%)	154 人 (99.35%)	154 人 (99.35%)	154 人 (99.35%)	150 人 (96.77%)
計	437 人	435 人 (99.54%)	435 人 (99.54%)	435 人 (99.54%)	435 人 (99.54%)	408 人 (93.36%)

医学部医学科

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	120 人	117 人 (97.50%)	117 人 (97.50%)	117 人 (97.50%)	117 人 (97.50%)	108 人 (90.00%)
3年生	120 人	116 人 (96.67%)	116 人 (96.67%)	116 人 (96.67%)	116 人 (96.67%)	106 人 (88.33%)
4年生	119 人	114 人 (95.80%)	114 人 (95.80%)	114 人 (95.80%)	114 人 (95.80%)	109 人 (91.60%)
5年生	119 人	113 人 (94.96%)	113 人 (94.96%)	113 人 (94.96%)	113 人 (94.96%)	105 人 (88.24%)
6年生	161 人	146 人 (90.68%)	146 人 (90.68%)	146 人 (90.68%)	145 人 (90.06%)	143 人 (88.82%)
計	639 人	606 人 (94.84%)	606 人 (94.84%)	606 人 (94.84%)	605 人 (94.68%)	571 人 (89.36%)

対象者数は 5月1日現在

学年は入学年度

医学部保健学科の5年生以上は4年生に含む

医学部医学科の7年生以上は6年生に含む

2022年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

大学院

		対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
人文科学研究科		0 人	0 人 (0.00%)				
教育学研究科		31 人	31 人 (100.00%)				
経済・社会政策科学研究科		3 人	0 人 (0.00%)				
医学系研究科		70 人	30 人 (42.86%)	30 人 (42.86%)	30 人 (42.86%)	30 人 (42.86%)	28 人 (40.00%)
総合人文社会科学研究科	人間文化学 心理学 (L)	12 人	9 人 (75.00%)				
	心理学 (E)	31 人	31 人 (100.00%)				
	経済学 法学	5 人	5 人 (100.00%)	5 人 (100.00%)	5 人 (100.00%)	5 人 (100.00%)	4 人 (80.00%)
総合理工学研究科	理学	151 人	121 人 (80.13%)	121 人 (80.13%)	121 人 (80.13%)	118 人 (78.15%)	106 人 (70.20%)
	工学	616 人	589 人 (95.62%)	589 人 (95.62%)	588 人 (95.45%)	586 人 (95.13%)	585 人 (94.97%)
	繊維学	373 人	351 人 (94.10%)	351 人 (94.10%)	282 人 (75.60%)	177 人 (47.45%)	351 人 (94.10%)
	農学	138 人	121 人 (87.68%)	121 人 (87.68%)	121 人 (87.68%)	121 人 (87.68%)	111 人 (80.43%)
	生命医工学	91 人	82 人 (90.11%)	81 人 (89.01%)	81 人 (89.01%)	61 人 (67.03%)	81 人 (89.01%)
総合工学系研究科		0 人	0 人 (0.00%)				
総合医理工学系研究科		75 人	74 人 (98.67%)	74 人 (98.67%)	46 人 (61.33%)	53 人 (70.67%)	74 人 (98.67%)
計		1,596 人	1,444 人 (90.48%)	1,443 人 (90.41%)	1,345 人 (84.27%)	1,222 人 (76.57%)	1,411 人 (88.41%)

対象者数は 5月1日現在

全学部学年別生活習慣統計

【喫煙】

喫煙	回答者	毎日喫煙		時々喫煙		喫煙しない		以前喫煙していた	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,277	0	0.0%	1	0.2%	1,272	99.6%	4	0.5%
	女 734	0	0.0%	0	0.0%	733	99.9%	1	0.4%
	計 2,011	0	0.0%	1	0.1%	2,005	99.7%	5	0.3%
2年生	男 1,113	8	0.8%	10	1.0%	1,093	98.2%	2	0.8%
	女 657	0	0.0%	3	2.0%	654	99.5%	0	0.0%
	計 1,770	8	0.5%	13	0.8%	1,747	98.7%	2	0.4%
3年生	男 1,073	31	2.9%	46	4.3%	980	91.3%	16	1.5%
	女 623	2	0.4%	2	0.6%	617	99.0%	2	0.6%
	計 1,696	33	2.0%	48	2.8%	1,597	94.2%	18	1.1%
4年生	男 1,195	62	5.2%	66	5.7%	1,037	86.8%	30	2.5%
	女 659	4	0.7%	7	1.1%	642	97.4%	6	0.9%
	計 1,854	66	3.6%	73	4.0%	1,679	90.6%	36	2.0%
5年生	男 78	4	5.7%	2	3.7%	71	91.0%	1	2.9%
	女 32	0	0.0%	0	0.0%	32	100.0%	0	0.0%
	計 110	4	4.0%	2	2.6%	103	93.6%	1	2.0%
6年生	男 103	0	0.0%	2	3.3%	96	94.1%	5	4.9%
	女 43	0	0.0%	0	0.0%	43	100.0%	0	0.0%
	計 146	0	0.0%	2	2.6%	139	95.9%	5	3.4%
研究科	男 1,069	84	8.0%	37	3.5%	910	85.1%	38	3.6%
	女 305	1	0.5%	2	4.8%	299	98.0%	3	1.8%
	計 1,374	85	6.3%	39	2.8%	1,209	88.0%	41	3.0%
合計	男 5,908	189	3.2%	164	2.8%	5,459	92.4%	96	1.6%
	女 3,053	7	0.2%	14	0.5%	3,020	98.9%	12	0.4%
	計 8,961	196	2.2%	178	2.0%	8,479	94.6%	108	1.2%

全学部学年別生活習慣統計

【飲 酒】

飲酒	回答者	毎日飲酒		時々飲酒		飲酒しない	
		人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,278	0	0.0%	23	2.3%	1,255	98.2%
	女 734	0	0.0%	5	0.8%	729	99.3%
	計 2,012	0	0.0%	28	1.7%	1,984	98.6%
2年生	男 1,116	4	0.5%	185	16.6%	927	83.1%
	女 653	0	0.0%	73	11.3%	580	88.8%
	計 1,769	4	0.3%	258	14.6%	1,507	85.2%
3年生	男 1,069	20	1.9%	808	75.6%	241	22.6%
	女 623	4	0.7%	467	75.0%	152	24.5%
	計 1,692	24	1.5%	1,275	75.4%	393	23.2%
4年生	男 1,197	19	1.6%	883	73.8%	295	25.1%
	女 654	2	2.2%	465	71.1%	187	28.8%
	計 1,851	21	1.2%	1,348	72.8%	482	26.4%
5年生	男 79	2	5.3%	60	75.9%	17	22.7%
	女 32	0	0.0%	25	78.1%	7	25.0%
	計 111	2	3.6%	85	76.6%	24	22.9%
6年生	男 103	2	4.4%	76	73.8%	25	26.0%
	女 43	0	0.0%	30	69.8%	13	37.1%
	計 146	2	3.5%	106	72.6%	38	27.7%
研究科	男 1,065	31	3.1%	819	77.1%	215	20.2%
	女 301	3	1.7%	214	71.1%	84	28.2%
	計 1,366	34	2.6%	1,033	75.7%	299	21.9%
合計	男 5,907	78	1.3%	2,854	48.4%	2,975	50.4%
	女 3,040	9	0.3%	1,279	42.1%	1,752	57.6%
	計 8,947	87	1.0%	4,133	46.3%	4,727	52.8%

全学部学年別生活習慣統計

【運 動】

運動	回答者	毎日運動		時々運動		運動しない	
		人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,276	93	7.3%	852	66.8%	331	25.9%
	女 728	29	4.5%	413	56.8%	286	39.3%
	計 2,004	122	6.1%	1,265	63.2%	617	30.8%
2年生	男 1,086	157	14.7%	716	65.9%	213	19.7%
	女 653	47	7.5%	390	59.7%	216	33.2%
	計 1,739	204	12.0%	1,106	63.6%	429	24.8%
3年生	男 1,045	129	12.5%	682	65.5%	234	22.4%
	女 618	51	8.4%	374	60.5%	193	31.3%
	計 1,663	180	10.9%	1,056	63.6%	427	25.7%
4年生	男 1,172	117	10.1%	763	65.1%	292	25.3%
	女 651	37	6.0%	395	60.7%	219	33.8%
	計 1,823	154	8.5%	1,158	63.5%	511	28.4%
5年生	男 79	12	15.6%	52	65.8%	15	20.8%
	女 31	1	7.7%	25	80.6%	5	17.2%
	計 110	13	12.1%	77	70.0%	20	19.8%
6年生	男 103	18	19.8%	67	65.0%	18	20.7%
	女 43	4	17.4%	31	72.1%	8	25.0%
	計 146	22	16.8%	98	67.1%	26	21.1%
研究科	男 1,042	91	8.8%	663	63.6%	288	27.7%
	女 292	10	3.9%	166	56.8%	116	41.9%
	計 1,334	101	7.6%	829	62.1%	404	30.3%
合計	男 5,803	617	10.6%	3,795	65.4%	1,391	24.0%
	女 3,016	179	6.0%	1,794	59.5%	1,043	34.6%
	計 8,819	796	9.0%	5,589	63.4%	2,434	27.6%

全学部学年別生活習慣統計

【平均睡眠時間】

平均睡眠	回答者	4時間未満		4時間以上		5時間以上		6時間未満		7時間以上		8時間以上	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,279	4	0.3%	25	2.0%	184	14.5%	616	48.2%	409	32.0%	41	3.2%
	女 734	3	0.5%	6	1.0%	105	14.6%	372	50.8%	229	31.2%	19	2.6%
	計 2,013	7	0.4%	31	1.5%	289	14.4%	988	49.1%	638	31.7%	60	3.0%
2年生	男 1,075	8	0.8%	44	4.3%	168	15.7%	425	39.5%	360	33.7%	70	6.5%
	女 640	4	1.1%	22	3.5%	129	20.6%	289	45.2%	164	25.6%	32	5.0%
	計 1,715	12	0.8%	66	3.9%	297	17.4%	714	41.6%	524	30.6%	102	6.0%
3年生	男 1,047	3	0.3%	35	3.4%	151	14.6%	424	40.5%	340	32.5%	94	9.0%
	女 611	4	0.7%	16	2.8%	117	19.5%	234	38.3%	189	31.0%	51	8.4%
	計 1,658	7	0.4%	51	3.1%	268	16.4%	658	39.7%	529	31.9%	145	8.8%
4年生	男 1,175	3	0.3%	43	3.8%	164	14.0%	447	38.1%	410	34.9%	108	9.3%
	女 639	3	0.5%	22	3.6%	143	22.4%	239	37.5%	182	28.5%	50	7.9%
	計 1,814	6	0.4%	65	3.7%	307	16.9%	686	37.9%	592	32.7%	158	8.8%
5年生	男 79	0	0.0%	0	0.0%	7	8.9%	41	53.9%	25	34.2%	6	8.7%
	女 32	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	10	31.3%	17	65.4%	3	9.7%
	計 111	0	0.0%	0	0.0%	9	8.2%	51	45.9%	42	40.8%	9	8.5%
6年生	男 103	1	2.2%	1	10.0%	21	22.1%	51	50.5%	24	23.5%	5	4.9%
	女 43	0	0.0%	1	16.7%	5	11.6%	11	26.2%	22	53.7%	4	11.1%
	計 146	1	1.7%	2	6.1%	26	17.9%	62	43.4%	46	31.9%	9	6.2%
研究科	男 1,022	6	0.7%	26	2.6%	162	15.9%	389	38.1%	357	34.9%	82	8.1%
	女 287	5	1.9%	20	7.2%	42	14.9%	110	38.7%	84	29.3%	26	9.5%
	計 1,309	11	0.9%	46	3.5%	204	15.6%	499	38.1%	441	33.7%	108	8.4%
合計	男 5,780	25	0.4%	174	3.0%	857	14.9%	2,393	41.4%	1,925	33.3%	406	7.0%
	女 2,986	19	0.6%	87	2.9%	543	18.2%	1,265	42.4%	887	29.7%	185	6.2%
	計 8,766	44	0.5%	261	3.0%	1,400	16.0%	3,658	41.7%	2,812	32.1%	591	6.7%

全学部学年別生活習慣統計

【朝食摂取】

朝食を 食べる	回答者	毎日食べる		時々食べる		食べない	
		人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,278	986	77.2%	220	17.3%	72	5.7%
	女 734	594	81.0%	123	16.8%	17	2.3%
	計 2,012	1,580	78.5%	343	17.1%	89	4.4%
2年生	男 1,104	526	47.7%	443	40.2%	135	12.2%
	女 654	425	65.0%	190	29.1%	39	6.2%
	計 1,758	951	54.2%	633	36.0%	174	9.9%
3年生	男 1,067	400	37.8%	476	44.6%	191	17.9%
	女 621	315	50.7%	245	39.5%	61	9.9%
	計 1,688	715	42.5%	721	42.7%	252	14.9%
4年生	男 1,184	416	35.1%	517	43.7%	251	21.4%
	女 654	343	52.4%	261	40.0%	50	7.8%
	計 1,838	759	41.3%	778	42.4%	301	16.5%
5年生	男 79	44	60.3%	27	34.2%	8	10.7%
	女 32	22	68.8%	9	31.0%	1	3.2%
	計 111	66	59.5%	36	32.7%	9	8.5%
6年生	男 103	46	46.0%	43	42.2%	14	13.6%
	女 43	26	60.5%	16	38.1%	1	4.0%
	計 146	72	49.7%	59	41.0%	15	10.3%
研究科	男 1,046	359	34.5%	424	40.5%	263	25.3%
	女 300	143	48.0%	129	43.1%	28	9.3%
	計 1,346	502	37.5%	553	41.1%	291	21.7%
合計	男 5,861	2,777	47.4%	2,150	36.7%	934	16.0%
	女 3,038	1,868	61.5%	973	32.0%	197	6.5%
	計 8,899	4,645	52.2%	3,123	35.1%	1,131	12.7%

定期健康診断結果（松本キャンパス）

		共通教育		人文		経法		理学		医学部医学科		医学部保健科		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
対象者		2,022		506		589		635		639		437		
内科	受診者	2,020	99.9	346	68.4	368	62.5	441	69.4	606	94.8	435	99.5	
	要精検者	16	0.8	1	0.3	2	0.5	3	0.7	2	0.3	3	0.7	
	精検受診者													
	結果	健康	15	0.7	1	0.3	2	0.5	3	0.7	2	0.3	3	0.7
		要観察	11	0.5			1	0.3	3	0.7	2	0.3	3	0.7
要医療		3	0.1	1	0.3	1	0.3							
X-P	受診者	2,020	100.0	183	36.2	176	29.9	298	46.9	605	94.7	435	99.5	
	要精検者	6	0.3			1	0.6			2	0.3			
	精検受診者													
	結果	健康	6	0.3			1	0.6			1	0.2		
		要観察	4	0.2			1	0.6			1	0.2		
要医療		2	0.1											
尿	受診者	1,944	96.1	275	54.3	286	48.6	373	58.7	571	89.4	408	93.4	
	要再検者	109	5.6	21	7.6	14	4.9	9	2.4	36	6.3	19	4.7	
	蛋白	91	4.7	9	3.3	12	4.2	4	1.1	31	5.4	14	3.4	
	糖	3	0.2	5	1.8	1	0.3	2	0.5	1	0.2	1	0.2	
	潜血	21	1.1	8	2.9	2	0.7	3	0.8	8	1.4	6	1.5	
	要精検者	1	0.1	3	1.1					1	0.2	1	0.2	
	精検受診者	100	5.1	20	7.3	14	4.9	9	2.4	34	6.0	19	4.7	
	蛋白	11	0.6	3	1.1					4	0.7	3	0.7	
	糖	2	0.1					1	0.3					
	潜血	5	0.3	2	0.7					2	0.4	3	0.7	
	結果	健康	95	4.9	18	6.5	14	4.9	8	2.1	32	5.6	16	3.9
		要観察	3	0.2	1	0.4							1	0.2
		要医療	2	0.1	1	0.4			1	0.3	2	0.4	2	0.5
血压	受診者	2,022	100.0	346	68.4	368	62.5	441	69.4	606	94.8	435	99.5	
	要再検者	225	11.1	11	3.2	6	1.6	3	0.7	22	3.6	4	0.9	
	低血压境界													
	高血压	225	11.1	11	3.2	6	1.6	3	0.7	22	3.6	4	0.9	
	I度													
	II度	222	11.0	11	3.2	6	1.6	3	0.7	22	3.6	4	0.9	
	III度	3	0.1											
	要精検者													
	精検受診者	215	10.6	8	2.3	4	1.1	2	0.5	17	2.8	4	0.9	
	低血压境界													
	高血压	118	5.8	5	1.4	2	0.5	1	0.2	9	1.5	1	0.2	
	高血压	13	0.6	3	0.9	2	0.5	2	0.5	6	1.0			
	I度													
	II度	12	0.6	3	0.9	2	0.5	2	0.5	5	0.8			
	III度	1	0.0							1	0.2			
	結果	健康	212	10.5	8	2.3	4	1.1	1	0.2	16	2.6	4	0.9
		要観察	1	0.0					1	0.2	1	0.2		
要医療		2	0.1											

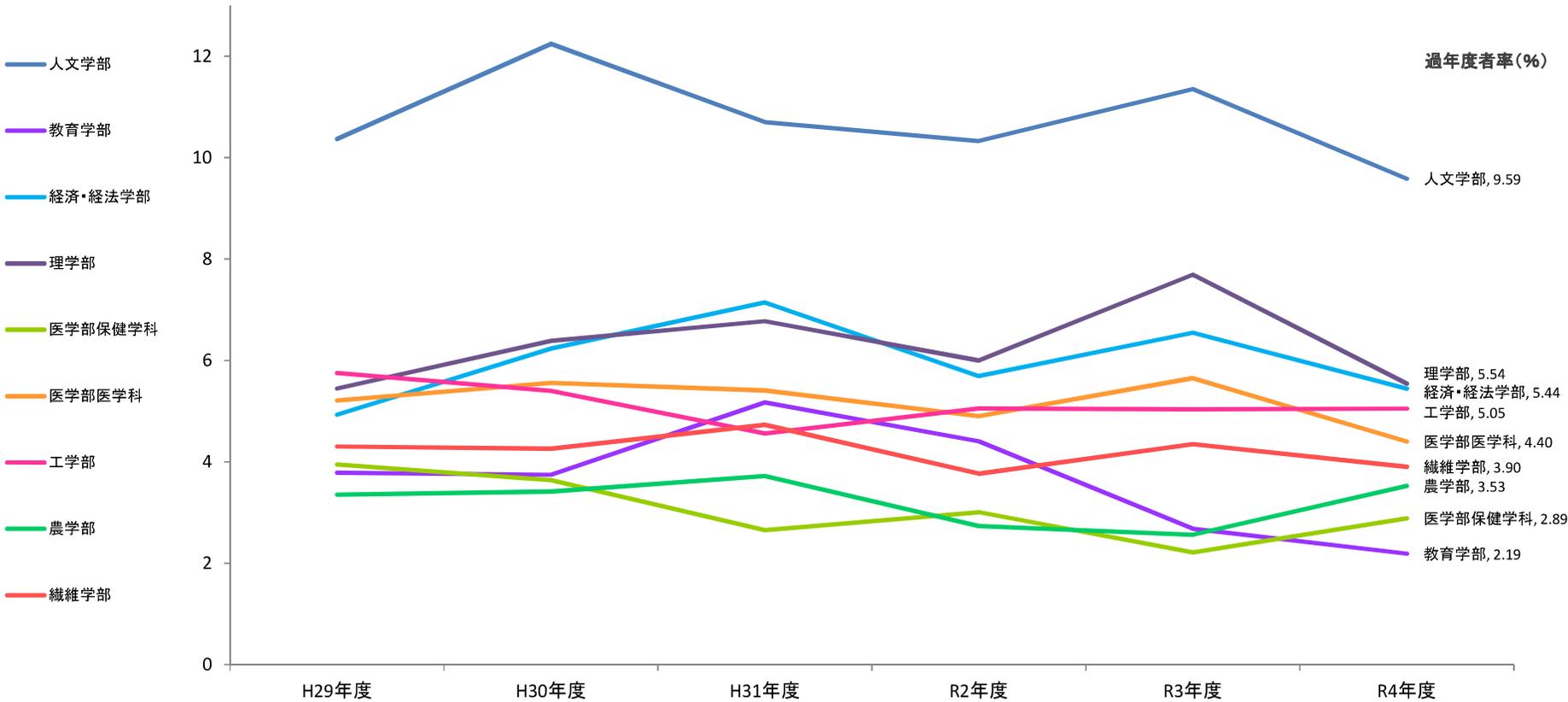
定期健康診断結果（全 学）

		教育		工学		農学		繊維		松本		大学院		計		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
対象者		749		1,621		543		924		4,828		1,596		10,261		
内科	受診者	737	98.4	1,494	92.2	480	88.4	637	68.9	3,018	62.5	1,345	84.3	8,909	86.8	
	要精検者	1	0.1	9	0.6	18	3.8	18	2.8	18	0.6	13	1.0	86	1.0	
	精検受診者															
	結果	健康	1	0.1	4	0.3	18	3.8	12	1.9	17	0.6	12	0.9	73	0.8
		要観察	1	0.1	3	0.2	16	3.3	6	0.9	15	0.5	9	0.7	55	0.6
要医療				1	0.1	2	0.4	3	0.5	2	0.1	1	0.1	12	0.1	
X-P	受診者	737	98.4	1,282	79.1	319	58.7	294	46.2	2,518	52.2	1,224	91.0	7,573	85.0	
	要精検者	10	1.4	5	0.4	4	1.3			4	0.2	2	0.2	30	0.4	
	精検受診者															
	結果	健康	10	1.4	4	0.3	1	0.3			3	0.1	1	0.1	24	0.3
		要観察	6	0.8	3	0.2					2	0.1	1	0.1	16	0.2
要医療		4	0.5	1	0.1	1	0.3			1	0.0			8	0.1	
尿	受診者	731	97.6	1,454	89.7	434	79.9	820	88.7	2,704	56.0	1,411	88.4	8,707	84.9	
	要再検者	28	3.8	20	1.4	14	3.2	30	3.7	145	5.4	47	3.3	347	4.0	
	蛋白	9	1.2	6	0.4	3	0.7	13	1.6	106	3.9	25	1.8	217	2.5	
	糖	2	0.3	2	0.1	2	0.5	1	0.1	13	0.5	4	0.3	24	0.3	
	潜血	19	2.6	11	0.8	8	1.8	15	1.8	36	1.3	22	1.6	123	1.4	
	要精検者	1	0.1			1	0.2			6	0.2	1	0.1	9	0.1	
	精検受診者	26	3.6	14	1.0	12	2.8	8	1.0	139	5.1	36	2.6	292	3.4	
	蛋白			1	0.1	1	0.2	3	0.4	14	0.5	2	0.1	28	0.3	
	糖	2	0.3			1	0.2			3	0.1	2	0.1	8	0.1	
	潜血	7	1.0	6	0.4	2	0.5	5	0.6	9	0.3	4	0.3	36	0.4	
	結果	健康	20	2.7	12	0.8	9	2.1	6	0.7	128	4.7	34	2.4	264	3.0
		要観察	4	0.5	2	0.1	1	0.2	2	0.2	4	0.1	2	0.1	16	0.2
		要医療	2	0.3			2	0.5			7	0.3			12	0.1
	血压	受診者	737	98.4	1,494	92.2	482	88.8	834	90.3	3,019	62.5	1,443	90.4	9,208	89.7
		要再検者	23	3.1	112	7.5	26	5.4	54	6.5	131	4.3	109	7.6	595	6.5
低血压												1	0.1	1	0.0	
境界								3	0.4			1	0.1	4	0.0	
高血压		23	3.1	112	7.5	26	5.4	51	6.1	131	4.3	107	7.4	590	6.4	
I度																
II度		22	3.0	102	6.8	25	5.2	47	5.6	130	4.3	103	7.1	567	6.2	
III度		1	0.1	10	0.7	1	0.2	4	0.5	1	0.0	4	0.3	23	0.2	
要精検者																
精検受診者		23	3.1	95	6.4	24	5.0	42	5.0	117	3.9	87	6.0	521	5.7	
低血压												1	0.1	1	0.0	
境界		7	0.9	55	3.7	12	2.5	15	1.8	63	2.1	53	3.7	278	3.0	
高血压		14	1.9	17	1.1	2	0.4	19	2.3	18	0.6	26	1.8	104	1.1	
I度																
II度		14	1.9	17	1.1	2	0.4	15	1.8	17	0.6	26	1.8	98	1.1	
III度								4	0.5	1	0.0			6	0.1	
結果		健康	8	1.1	95	6.4	23	4.8	38	4.6	113	3.7	78	5.4	487	5.3
		要観察	15	2.0			1	0.2	4	0.5	3	0.1	8	0.6	31	0.3
		要医療									1	0.0	1	0.1	3	0.0

平成29年度～令和4年度 学部別過年度者数・過年度者率の変遷

(過年度者率＝各年度の在学学生数に対する標準修業年限超過学生数の割合)

区 分	H29年度			H30年度			H31年度			R2年度			R3年度			R4年度		
	在学者数	過年度者数	過年度者率(%)															
人文学部	733	76	10.37	735	90	12.24	729	78	10.70	707	73	10.33	696	79	11.35	699	67	9.59
教育学部	1,109	42	3.79	1,068	40	3.75	1,044	54	5.17	1,021	45	4.41	1,008	27	2.68	1,005	22	2.19
経済・経法学部	832	41	4.93	818	51	6.23	812	58	7.14	773	44	5.69	764	50	6.54	753	41	5.44
理学部	863	47	5.45	861	55	6.39	856	58	6.78	850	51	6.00	871	67	7.69	848	47	5.54
医学部保健学科	608	24	3.95	605	22	3.64	603	16	2.65	599	18	3.01	588	13	2.21	589	17	2.89
医学部医学科	748	39	5.21	756	42	5.56	758	41	5.41	755	37	4.90	761	43	5.65	750	33	4.40
工学部	2,157	124	5.75	2,149	116	5.40	2,106	96	4.56	2,097	106	5.05	2,105	106	5.04	2,100	106	5.05
農学部	746	25	3.35	733	25	3.41	726	27	3.72	695	19	2.73	703	18	2.56	709	25	3.53
繊維学部	1,208	52	4.30	1,220	52	4.26	1,226	58	4.73	1,221	46	3.77	1,218	53	4.35	1,204	47	3.90
合 計	9,004	470	5.22	8,945	493	5.51	8,860	486	5.49	8,718	439	5.04	8,714	456	5.23	8,657	405	4.68



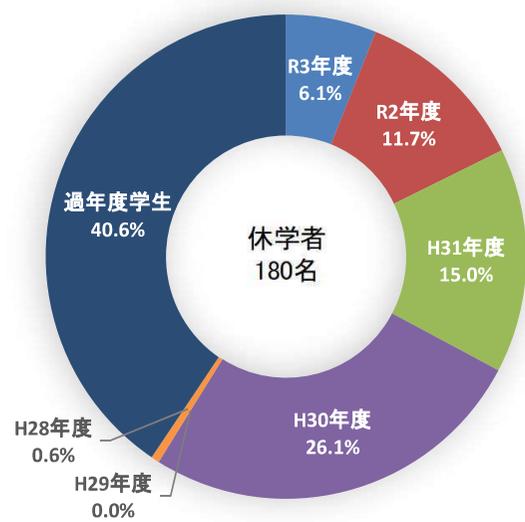
令和3年度における入学年度別休学者数調（その2 簡略版）

単位：人

学部/入学年度	R3年度		R2年度		H31年度		H30年度		H29年度		H28年度		過年度学生		合計	
人文学部	4	(0)	5	(0)	7	(1)	6	(1)					18	(0)	40	(2)
教育学部	0	(0)	1	(0)	2	(0)	5	(0)					2	(0)	10	(0)
経済・経法学部	0	(0)	1	(0)	0	(0)	4	(0)					16	(0)	21	(0)
理学部	5	(0)	6	(0)	7	(0)	7	(0)					7	(0)	32	(0)
医学部保健学科	0	(0)	2	(0)	4	(0)	3	(0)					1	(0)	10	(0)
医学部医学科	1	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	1	(0)	4	(0)	7	(0)
工学部	1	(0)	2	(0)	6	(0)	9	(1)					10	(0)	28	(1)
農学部	0	(0)	2	(0)	0	(0)	4	(0)					1	(0)	7	(0)
繊維学部	0	(0)	2	(0)	1	(0)	8	(0)					14	(0)	25	(0)
計	11	(0)	21	(0)	27	(1)	47	(2)	0	(0)	1	(0)	73	(0)	180	(3)

※()内は、積極的理由群の「留学のため」で、内数を示す。 ※編入生は編入先の年度に含めた。

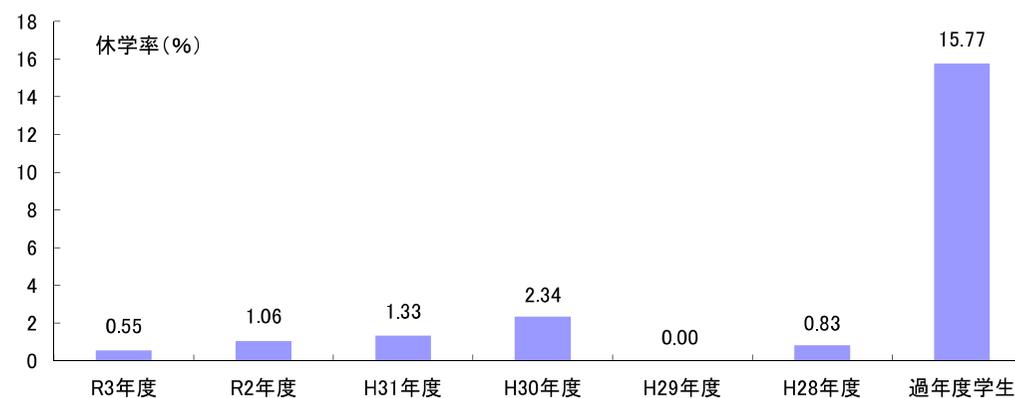
R3年度休学者の入学年度別割合



※H28年度・H29年度入学の休学者は医学科のみ対象。

在学者総数に占める休学者の割合（入学年度別）

入学年度	R3年度	R2年度	H31年度	H30年度	H29年度	H28年度	過年度学生	合計
休学者数	11	21	27	47	0	1	73	180
在学者数	1,993	1,977	2,034	2,008	119	120	463	8,714
休学率(%)	0.55	1.06	1.33	2.34	0.00	0.83	15.77	2.07



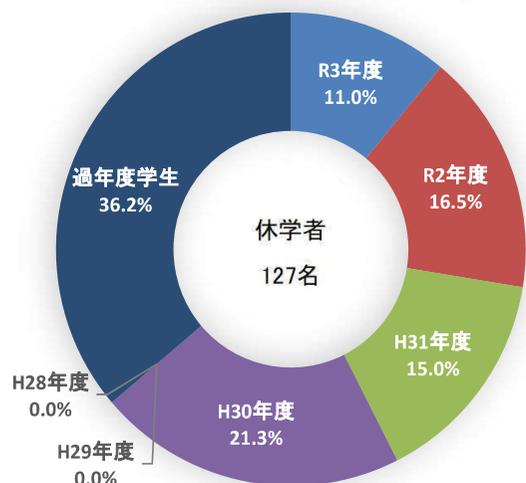
令和3年度における入学年度別退学者調

※過年度学生：標準修業年限超過の学生

学部/入学年度	R3年度			R2年度			H31年度			H30年度			H29年度			H28年度			過年度学生			合計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
人文学部	1		1		2	2		1	1	1	4	5						8	4	12	10	11	21		
教育学部	1	1	2	1	1	2				2	1	3									4	3	7		
経済・経法学部		1	1							1		1						4		4	5	1	6		
理学部	5	1	6	6		6	3	1	4	6	1	7						10	1	11	30	4	34		
医学部保健学科					1	1	1	2	3	1		1						1		1	3	3	6		
医学部医学科				1		1												1		1	2	0	2		
工学部	3		3	5		5	5	1	6	4	1	5						9		9	26	2	28		
農学部				1		1	2		2									2	1	3	5	1	6		
繊維学部	1		1	2	1	3	2	1	3	4	1	5						4	1	5	13	4	17		
計	11	3	14	16	5	21	13	6	19	19	8	27	0	0	0	0	0	0	0	39	7	46	98	29	127

※編入生は編入先の年度に含めた

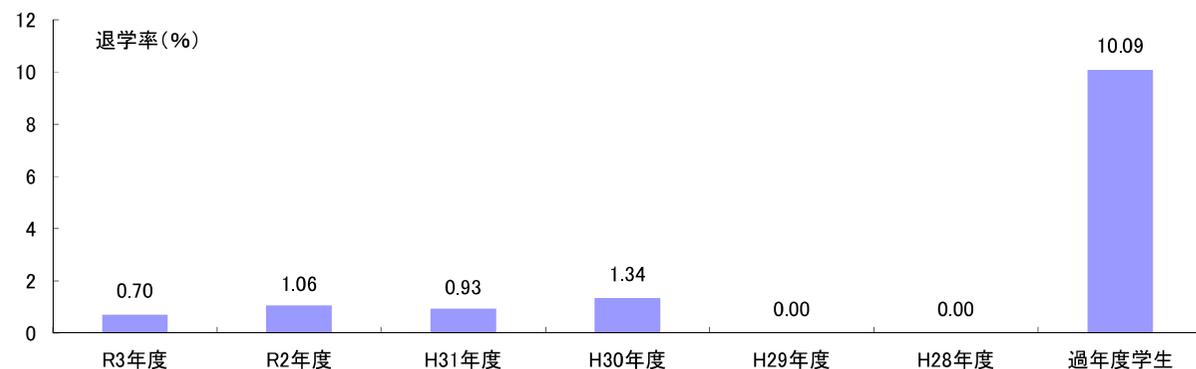
R3年度退学者の入学年度別割合



※H28年度・H29年度入学の退学者は医学科のみ対象。

在学者総数に占める退学者の割合(入学年度別)

入学年度	R3年度	R2年度	H31年度	H30年度	H29年度	H28年度	過年度学生	合計
退学者数	14	21	19	27	0	0	46	127
在学者数	1,993	1,977	2,034	2,015	119	120	456	8,714
退学率(%)	0.70	1.06	0.93	1.34	0.00	0.00	10.09	1.46



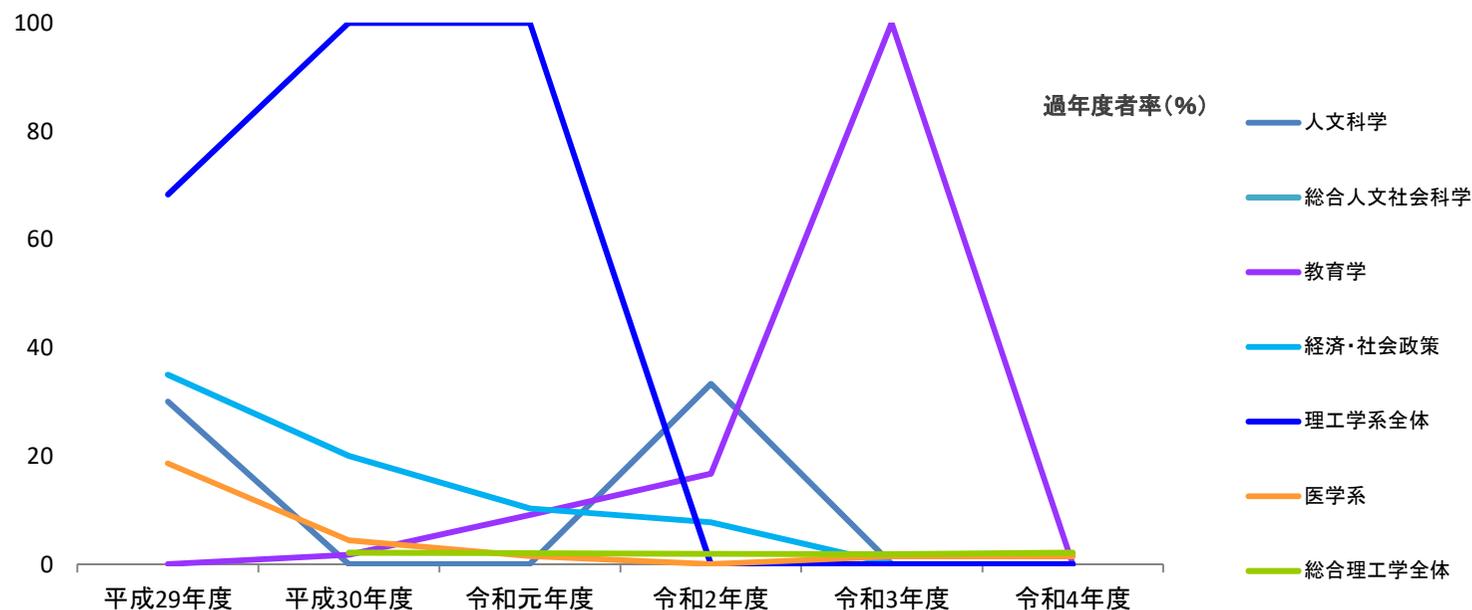
平成29年度～令和4年度 年度別過年度者率調<修士>

単位：%

(過年度者率＝各年度の在学学生数に対する過年度生数の割合)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人文科学	30.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
教育学	0.0	1.7	9.1	16.7	100.0	0.0
経済・社会政策	35.0	20.0	10.3	7.7	0.0	0.0
総合人文社会科学						0.0
医学系	18.6	4.4	1.5	0.0	1.4	1.4
理工学系(理学)	100.0					
理工学系(工学)	52.2	100.0				
理工学系(繊維)	86.7	100.0	100.0			
理工学系全体	68.3	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
総合理工学(理学)		2.1	5.4	3	3.5	1.4
総合理工学(工学)		1.8	2.2	1.5	1.5	1.7
総合理工学(繊維)		2.5	1.1	2.2	1.4	2.2
総合理工学(農学)		1.8	0.0	1.8	2.3	3.1
総合理工学(生命医工)		2.5	2.7	3.7	1.1	4.3
総合理工学全体		2.1	2.0	1.9	1.8	2.1
全体平均	4.5	3.1	2.6	2.3	1.8	2.0
文系平均	17.9	8.4	8.7	9.4	2.9	0.0
理系平均	3.3	2.6	2.1	1.9	1.7	2.1

※「総合理工学研究科」は平成28年度より新設 ※「総合人文社会科学研究科」は令和2年度より新設

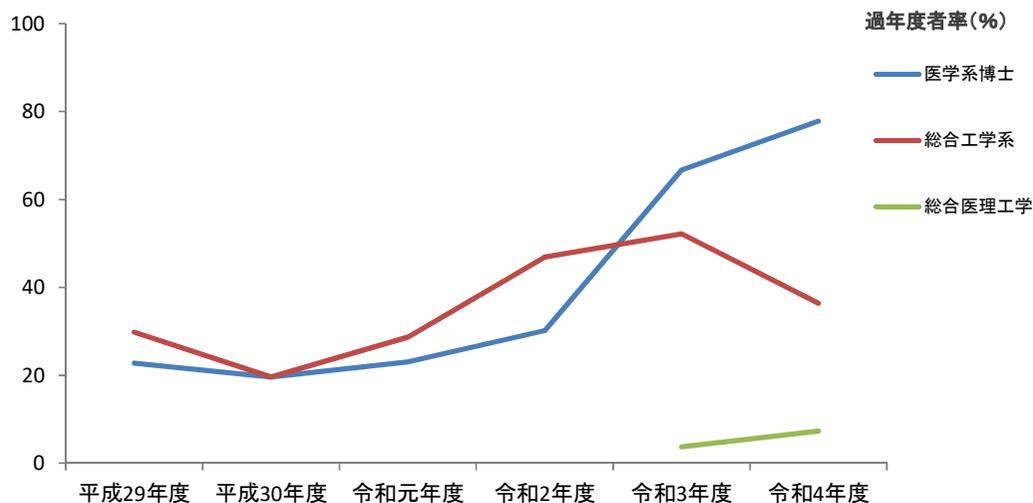


平成29年度～令和4年度 年度別過年度者率調<博士>

(過年度者率=各年度の在学学生数に対する過年度学生の割合) 単位:%

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医学系博士	22.8	19.6	23.0	30.2	66.7	77.8
総合工学系	29.8	19.6	28.7	46.9	52.2	36.4
総合医理工学					3.7	7.3
全体平均	21.4	14.1	12.1	12.1	10.3	11.0

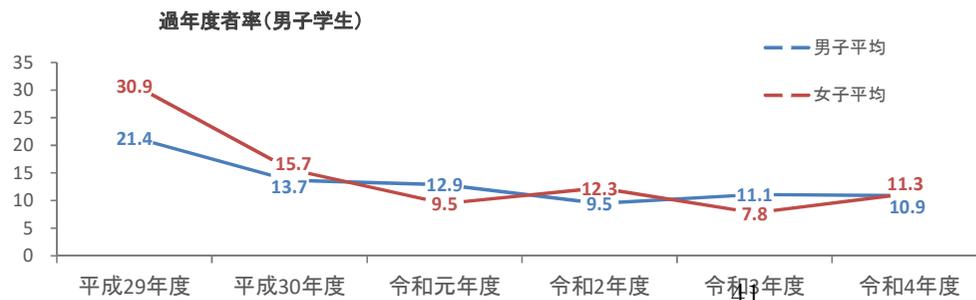
※「総合医理工学研究科」は平成30(2018)年度より新設



平成29年度～令和4年度 男女別過年度者率の変遷<博士>

単位:%

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男子平均	21.4	13.7	12.9	9.5	11.1	10.9
女子平均	30.9	15.7	9.5	12.3	7.8	11.3



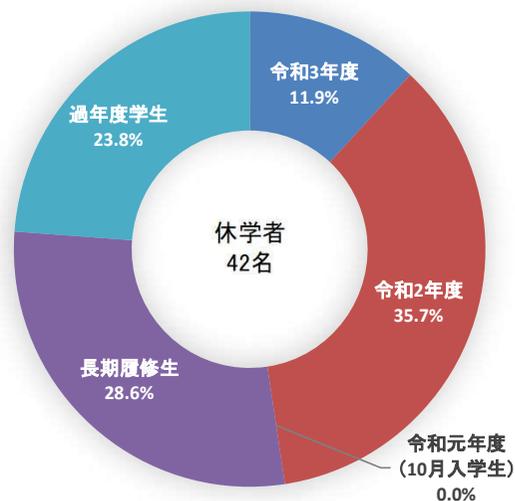
令和3年度における入学年度別休学者調<修士>(その2簡略版)

単位:人

研究科/入学年度	令和3年度		令和2年度		令和元年度 (10月入学生)		長期履修生		過年度学生		合計	
人文科学							1				1	0
教育学									1		1	0
経済・社会政策							2				2	0
総合人文社会科学			1								1	0
医学系							9		1		10	0
総合理工学(理学)			2						1		3	0
総合理工学(工学)	2		4	1					2	1	8	2
総合理工学(繊維)	1		3						4		8	0
総合理工学(農学)	2		2						1		5	0
総合理工学(生命医工)			3								3	0
計	5	0	15	1	0	0	12	0	10	1	42	2

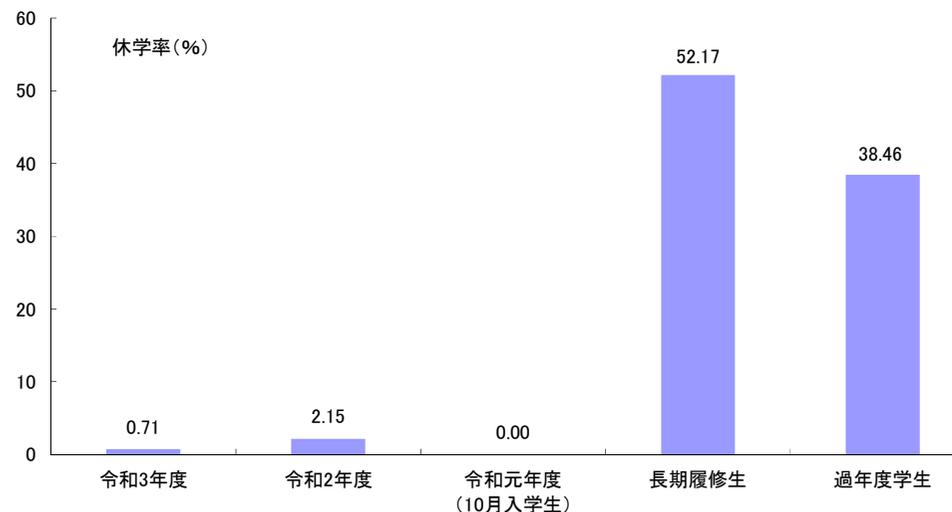
※太枠内は、積極的理由群の「留学のため」で、内数を示す。

休学者の入学年度別割合



在学者総数に占める休学者の割合(入学年度別)

入学年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度 (10月入学生)	長期履修生	過年度学生
休学者数	5	15	0	12	10
在学者数	708	697	14	23	26
休学率(%)	0.71	2.15	0.00	52.17	38.46



令和3年度における入学年度別休学者調<博士>(その2簡略版)

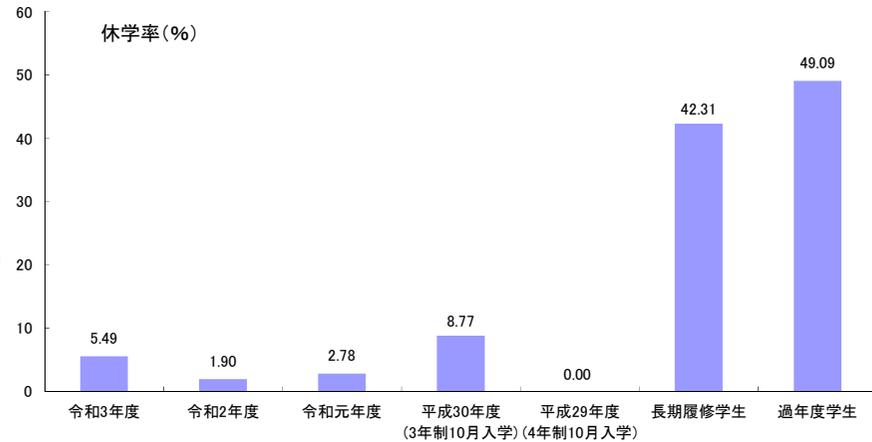
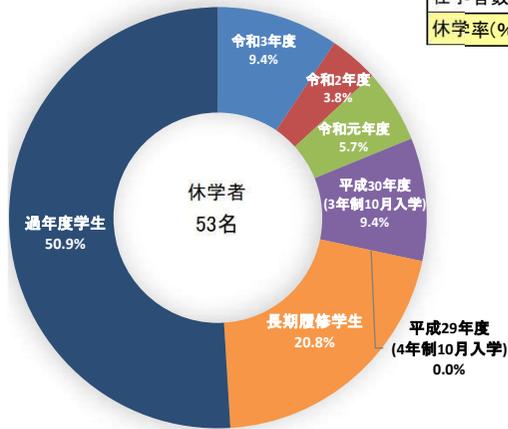
単位:人

研究科/入学年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度 (3年制10月入学)	平成29年度 (4年制10月入学)	長期履修学生	過年度学生	合計
医学系(博士課程)【4年制】							18	18
医学系(博士後期課程)【3年制】						6	1	7
総合工学系 生命機能・ファイバー工学専攻【3年制】								0
総合工学系 システム開発工学専攻【3年制】						3	1	4
総合工学系 物質創成科学専攻【3年制】								0
総合工学系 山岳地域環境科学専攻【3年制】							1	1
総合工学系 生物・食料科学専攻【3年制】								0
総合医理工学研究科 [医学系専攻](博士課程【4年制】)				3				3
総合医理工学研究科 [医学系専攻](博士課程【3年制】)							1	1
総合医理工学研究科 [総合理工学専攻](博士課程【3年制】)	5	2	2			1	4	14
総合医理工学研究科 [生命医工学専攻](博士課程【4年制】)			1	1				2
総合医理工学研究科 [生命医工学専攻](博士課程【3年制】)				1		1	1	3
計	5	2	3	5	0	11	27	53

※「総合医理工学研究科」は平成30年度より新設。

休学者の入学年度別割合

入学年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度 (3年制10月入学)	平成29年度 (4年制10月入学)	長期履修学生	過年度学生
休学者数	5	2	3	5	0	11	27
在学者数	91	105	108	57	2	26	55
休学率(%)	5.49	1.90	2.78	8.77	0.00	42.31	49.09



令和3年度における入学年度別退学者調<修士>

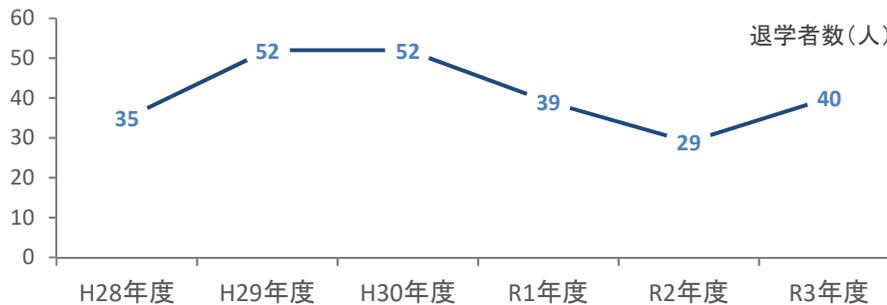
単位:人

研究科	入学年度	令和3年度			令和2年度			令和元年度 (10月入学生)			長期履修学生			過年度学生			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文科学				0	1		1						0			0	1	0	1
教育学				0			0						0	1		1	1	0	1
経済・社会政策				0			0			0	1		1			0	1	0	1
総合人文社会科学																	0	0	0
医学系		1		1			0						0			0	1	0	1
総合理工学(理学)				0	7	1	8									0	7	1	8
総合理工学(工学)		3		3	5	2	7							2		2	10	2	12
総合理工学(繊維)		1		1	3		3							2	1	3	6	1	7
総合理工学(農学)			1	1	1	2	3							1		1	2	3	5
総合理工学(生命医工)		1	1	2	1	1	2									0	2	2	4
総合理工学全体		5	2	7	17	6	23	0	0	0	0	0	0	5	1	6	27	9	36
計		6	2	8	18	6	24	0	0	0	1	0	1	6	1	7	31	9	40

平成28年度～令和3年度 退学者数などの変遷<修士>

(1)各年度の退学者数

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
退学者数(人)	35	52	52	39	29	40



令和3年度における入学年度別退学者調<博士>

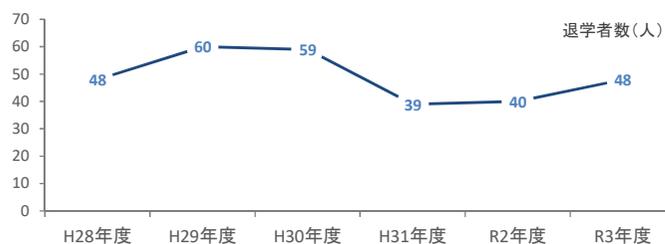
単位:人

研究科	入学年度			令和2年度			令和元年度			平成30年度 (3年制10月入学)			平成29年度 (4年制10月入学)			長期履修学生			過年度学生			合計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
医学系(博士課程)【4年制】			0			0			0			0		1	1			0	6	3	9	6	4	10	
医学系(博士後期課程)【3年制】			0			0			0			0			0			0	2	2	4	2	2	4	
総合工学系 生命機能・ファイバー工学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0	1		1	1	0	1	
総合工学系 システム開発工学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0	
総合工学系 物質創成科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0	1		1	1	0	1	
総合工学系 山岳地域環境科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0	1		1	1		1	2	0	2	
総合工学系 生物・食料科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0		1	1	0	1	1	
総合医理工学研究科 医学系専攻【4年制】			0			0			0	8	1	9			0			0			0	8	1	9	
総合医理工学研究科 医学系専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0	
総合医理工学研究科 総合理工学専攻【3年制】	4		4	1		1	4	1	5			1	1			0	1		1	1		1	11	2	13
総合医理工学研究科 生命医工学専攻【4年制】			0			0			0	4	2	6			0			0			0	4	2	6	
総合医理工学研究科 生命医工学専攻【3年制】			0			0	1		1			0			0			0			0	1	0	1	
計	4	0	4	1	0	1	5	1	6	12	4	16	0	1	1	2	0	2	12	6	18	36	12	48	

※ H30年4月より医学系研究科と総合工学系研究科を「医学系専攻」、「総合理工学専攻」、「生命医工学専攻」の3専攻に統合再編「総合医理工学研究科」を設置

平成28年度～令和3年度 退学者数などの変遷<博士>

区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
退学者数(人)	48	60	59	39	40	48



施設利用状況(学生)

*人数は延人数

業務内容		松本		教育		工学		農学		繊維		合計	
101	専任：内科	78	0.8%	4	0.1%	11	0.2%	5	0.2%	16	0.5%	114	0.5%
102	専任：精神科	300	2.9%	2	0.1%	5	0.1%			7	0.2%	314	1.3%
106	産業：医療面談												
107	産業：産業医面談												
108	産業：過重労働面談												
109	産業：希望面談												
111	校医：内科	6	0.1%	6	0.2%							12	0.1%
112	校医：精神科	69	0.7%					11	0.5%	7	0.2%	87	0.4%
114	校医：整形外科												
117	校医：産婦人科												
118	校医：皮膚科												
121	他医：医療機関へ紹介	62	0.6%	3	0.1%	3	0.1%	1	0.0%	5	0.2%	74	0.3%
131	医師：臨時健康診断	9	0.1%					5	0.2%			14	0.1%
132	医師：特別定期健診	45	0.4%	8	0.3%	134	2.8%			284	8.7%	471	2.0%
201	検査：身体計測	70	0.7%	59	1.9%	2	0.0%	10	0.4%	5	0.2%	146	0.6%
202	検査：血圧測定	275	2.7%	65	2.1%	143	3.0%	50	2.1%	76	2.3%	609	2.6%
204	検査：尿	262	2.6%	152	4.9%	112	2.3%	75	3.2%	157	4.8%	758	3.2%
205	検査：視聴力・色覚	5	0.0%	31	1.0%	2	0.0%	2	0.1%	7	0.2%	47	0.2%
206	検査：心電図	28	0.3%									28	0.1%
207	検査：バイタル測定	26	0.3%	2	0.1%	4	0.1%	13	0.6%	1	0.0%	46	0.2%
211	処置：外傷	33	0.3%	16	0.5%	25	0.5%	43	1.8%	27	0.8%	144	0.6%
212	処置：打撲・捻挫	20	0.2%	20	0.6%	6	0.1%	14	0.6%	21	0.6%	81	0.3%
213	処置：熱傷	4	0.0%	4	0.1%	3	0.1%	2	0.1%	3	0.1%	16	0.1%
214	処置：咬刺症	5	0.0%	1	0.0%	5	0.1%	23	1.0%	3	0.1%	37	0.2%
215	処置：皮膚疾患	1	0.0%	1	0.0%	2	0.0%	15	0.6%	1	0.0%	20	0.1%
216	処置：その他	12	0.1%	2	0.1%	34	0.7%	6	0.3%	11	0.3%	65	0.3%
221	看護：投薬	9	0.1%	2	0.1%	2	0.0%	5	0.2%	3	0.1%	21	0.1%
231	看護：健康相談	1,227	12.0%	458	14.8%	42	0.9%	245	10.4%	177	5.4%	2,149	9.0%
235	看護：労働衛生相談									1	0.0%	1	0.0%
236	医療機関紹介	55	0.5%	10	0.3%	23	0.5%	36	1.5%	42	1.3%	166	0.7%
238	搬送	7	0.1%			1	0.0%	7	0.3%	2	0.1%	17	0.1%
241	看護：インテーク	78	0.8%	14	0.5%	15	0.3%	32	1.4%	69	2.1%	208	0.9%
260	看護：感染症相談	5,533	54.3%	1,520	49.0%	2,765	57.4%	1,070	45.3%	1,503	45.8%	12,391	52.2%
251	看護：その他	612	6.0%	43	1.4%	178	3.7%	23	1.0%	36	1.1%	892	3.8%
305	常勤：心理士の面談	1,024	10.1%	562	18.1%	1,260	26.2%	515	21.8%	617	18.8%	3,978	16.7%
306	非常勤：心理士の面談	81	0.8%	69	2.2%							150	0.6%
307	学生相談センター												
401	自主：身体計測	84	0.8%	1	0.0%			98	4.2%	90	2.7%	273	1.1%
402	自主：血圧測定	4	0.0%	1	0.0%					4	0.1%	9	0.0%
403	自主：休養	84	0.8%	14	0.5%			47	2.0%	36	1.1%	181	0.8%
404	自主：その他			1	0.0%							1	0.0%
501	健康診断証明書	79	0.8%	33	1.1%	41	0.9%	8	0.3%	71	2.2%	232	1.0%
計		10,187	100%	3,104	100%	4,818	100.0%	2,361	100.0%	3,282	100.0%	23,752	100.0%

施設利用状況(職員)

*人数は延人数

業務内容		松本		教育		工学		農学		繊維		合計	
101	専任：内科	18	1.0%	5	1.4%	10	2.3%	1	0.3%	4	0.9%	38	1.1%
102	専任：精神科	125	6.8%	2	0.5%	1	0.2%					128	3.7%
106	産業：医療面談	30	1.6%	12	3.3%	4	0.9%	13	3.4%	5	1.1%	64	1.8%
107	産業：産業医面談	57	3.1%	4	1.1%	2	0.5%	15	4.0%	7	1.5%	85	2.4%
108	産業：過重労働面談	26	1.4%	2	0.5%	3	0.7%			9	2.0%	40	1.1%
109	産業：希望面談	1	0.1%									1	0.0%
111	校医：内科			2	0.5%							2	0.1%
112	校医：精神科	33	1.8%					2	0.5%			35	1.0%
114	校医：整形外科												
117	校医：産婦人科												
118	校医：皮膚科												
121	他医：医療機関へ紹介	18	1.0%			3	0.7%					21	0.6%
131	医師：臨時健康診断												
132	医師：特別定期健診	39	2.1%	3	0.8%	79	18.2%	10	2.6%	71	15.6%	202	5.8%
201	検査：身体計測			14	3.8%	3	0.7%					17	0.5%
202	検査：血圧測定	2	0.1%	19	5.2%	3	0.7%	2	0.5%	1	0.2%	27	0.8%
204	検査：尿	1	0.1%			3	0.7%	1	0.3%	6	1.3%	11	0.3%
205	検査：視聴力・色覚					2	0.5%					2	0.1%
206	検査：心電図												
207	検査：バイタル測定												
211	処置：外傷	15	0.8%	8	2.2%	9	2.1%	11	2.9%			43	1.2%
212	処置：打撲・捻挫	8	0.4%	2	0.5%	5	1.1%	5	1.3%	1	0.2%	21	0.6%
213	処置：熱傷	1	0.1%					4	1.1%			5	0.1%
214	処置：咬刺症	1	0.1%	5	1.4%	2	0.5%	7	1.8%	1	0.2%	16	0.5%
215	処置：皮膚疾患	2	0.1%	2	0.5%			7	1.8%	1	0.2%	12	0.3%
216	処置：その他	3	0.2%	4	1.1%	5	1.1%	7	1.8%	3	0.7%	22	0.6%
221	看護：投薬	7	0.4%	10	2.7%			12	3.2%	10	2.2%	39	1.1%
231	看護：健康相談	214	11.6%	79	21.5%	14	3.2%	69	18.2%	23	5.0%	399	11.5%
235	看護：労働衛生相談	107	5.8%	2	0.5%			6	1.6%	1	0.2%	116	3.3%
236	医療機関紹介	1	0.1%			5	1.1%	4	1.1%	2	0.4%	12	0.3%
238	搬送			2	0.5%	1	0.2%					3	0.1%
241	看護：インテーク	16	0.9%	1	0.3%	1	0.2%			1	0.2%	19	0.5%
260	看護：感染症相談	666	36.2%	145	39.4%	209	48.0%	186	49.1%	179	39.3%	1,385	39.8%
251	看護：その他	368	20.0%	16	4.3%	21	4.8%	9	2.4%	2	0.4%	416	12.0%
305	常勤：心理士の面談					45	10.3%	1	0.3%	2	0.4%	48	1.4%
306	非常勤：心理士の面談	19	1.0%	27	7.3%							46	1.3%
307	学生相談センター												
401	自主：身体計測	2	0.1%			3	0.7%	3	0.8%	54	11.8%	62	1.8%
402	自主：血圧測定	3	0.2%			1	0.2%	3	0.8%	71	15.6%	78	2.2%
403	自主：休養	19	1.0%	2	0.5%	1	0.2%	1	0.3%	2	0.4%	25	0.7%
404	自主：その他												
501	健康診断証明書	40	2.2%									40	1.1%
計		1842	100.0%	368	100.0%	435	100.0%	379	100.0%	456	100.0%	3480	100.0%

令和5年5月

編集・発行 信州大学総合健康安全センター

〒390-8621

長野県松本市旭 3-1-1

電話 (0263) 37-2157・3516

FAX (0263) 37-3514